社会保険の概要①〔健康保険・雇用保険〕〔制度しくみ、非正規社員との比較〕

社会保険の概要②〔労災保険・年金保険〕〔制度しくみ、非正規社員との比較〕

筆記試験対策①〔筆記試験の種類の説明・筆記試験の実習体験〕

前期試験・前期総括〔1年後期に向けて〕

筆記試験対策②〔自己学習への意識・動議付け、筆記試験の実習体験〕

16

17

18

19

20

林

林

花澤

花澤

林・東郷

事前	学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当	時間	 各授業毎に約30分程度											
事後	学習	学習した内容について、指示された	た課題	題があ	れば1	行う((宿題)) 。				-	
充当	時間	約30分~1時間程度											
使用	テキスト	必要に応じて、その都度指示を行	う。										
参考	資料	必要に応じて、その都度指示を行	う。										
参照	テ゛ータ	なし											
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目(成績に	こ反映	させる	る割合	ì)				
abla		 成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	\circ	\circ	0	0	0					0
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	0				0			0			
3	ミニラ	Chの得点 20 0 0 0											
4	予習	复習に対する実施状況											
5	課題の	の達成状況	0						0				
6	課題の	の提出状況	20						0				
7	出席署	率の状況 (2/3 以上の出席に対して)	0									0	
8	理解原	度の低い学生への学習支援	0								0		
9													
10													
追詞		試験の有無 有・無 有・無	追試	験・	耳試験	に関う	する特	記事	項				
		科目担	.当教	員の事	ミ務経	験等							
当該和 関する 経験 <i>の</i>	る実務												
備考	夜間	間部の授業は45分×2=1コマで換算	する	. 1 E	ョのコ	マ数り	 よ最大	[2□ ¬	7。				

林

林・東郷

林・東郷・花澤

林・東郷・花澤

林・東郷・花澤

16

17

18

19

20

業界・企業研究③〔関心ある企業の調べ学習〕

後期試験・後期総括〔2年前期に向けて〕

個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕

個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕

個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕

事前		各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当	時間	 各授業毎に約30分程度											
事後	(学習	学習した内容について、指示された	た課題	題があ	れば彳	テう ((宿題)) 。					
充当	時間	 約30分~1時間程度											
(市田	ヨテセフト	<u> </u>	<u></u>										
	3/7^r	少女に心して、ての郁皮相小で1	<i>)</i> 。										
参考	資料	必要に応じて、その都度指示を行	う。										
参照	貫定゛ータ	なし											
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目 ()	成績に	反映	させる	る割合	ì)				
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	の検定対策等答練の得点 0 0 0 0 0 0 0 0 0										
3	S = 7	ストの得点 20 ○ ○ ○ ○											
4	予習	復習に対する実施状況											
5	課題の		0						0				
6	課題の		20						0				
7	出席率	をの状況 (2/3以上の出席に対して)	0									0	
8		まった。 度の低い学生への学習支援	0								0		
9													
10													
	•												
追試	験・再	試験の有無 	追試	験・耳	 手試験	に関っ	する特	記事	項				
追	試験	 一 無											
再	試験	[
		科目担	当教	員の実	『務経	験等							
当該	科目に												
	る実務												
経験	の内容												
備考	夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	ョのコ	マ数り	は最大	2==	7。				

林・東郷・花澤

林・東郷・花澤

林・東郷・花澤

林・東郷・花澤

16

17

18

19

20

就職活動実践〔サポート〕②〔応募書類の確認・面接練習〕

就職活動実践〔サポート〕③〔応募書類の確認・面接練習〕

就職活動実践〔サポート〕④〔応募書類の確認・面接練習〕

就職活動実践〔サポート〕⑤〔応募書類の確認・面接練習〕

|前期試験・前期総括〔2年後期へ向けて〕林・東郷

事前		各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当	時間	 各授業毎に約30分程度											
事後	(学習	学習した内容について、指示された	た課題	題があ	れば彳	テう ((宿題)) 。					
充当	時間	 約30分~1時間程度											
(市田	ヨテセフト	<u> </u>	<u></u>										
	3/7^r	少女に心して、ての郁皮相小で1	<i>)</i> 。										
参考	資料	必要に応じて、その都度指示を行	う。										
参照	貫定゛ータ	なし											
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目 ()	成績に	反映	させる	る割合	ì)				
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	の検定対策等答練の得点 0 0 0 0 0 0 0 0 0										
3	S = 7	ストの得点 20 ○ ○ ○ ○											
4	予習	復習に対する実施状況											
5	課題の		0						0				
6	課題の		20						0				
7	出席率	をの状況 (2/3以上の出席に対して)	0									0	
8		まった。 度の低い学生への学習支援	0								0		
9													
10													
	•												
追試	験・再	試験の有無 	追試	験・耳	 手試験	に関っ	する特	記事	項				
追	試験	 一 無											
再	試験	[
		科目担	当教	員の実	『務経	験等							
当該	科目に												
	る実務												
経験	の内容												
備考	夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	ョのコ	マ数り	は最大	2==	7。				

事前	学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当	時間	 各授業毎に約30分程度											
事後	学習	学習した内容について、指示された	た課題	題があ	れば1	行う((宿題)) 。				-	
充当	時間	約30分~1時間程度											
使用	テキスト	必要に応じて、その都度指示を行	う。										
参考	資料	必要に応じて、その都度指示を行	う。										
参照	テ゛ータ	なし											
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目(成績に	こ反映	させる	る割合	ì)				
abla		 成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	\circ	\circ	0	0	0					0
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	0				0			0			
3	ミニラ	Chの得点 20 0 0 0											
4	予習	复習に対する実施状況											
5	課題の	の達成状況	0						0				
6	課題の	の提出状況	20						0				
7	出席署	率の状況 (2/3 以上の出席に対して)	0									0	
8	理解原	度の低い学生への学習支援	0								0		
9													
10													
追詞		試験の有無 有・無 有・無	追試	験・	耳試験	に関う	する特	記事	項				
		科目担	.当教	員の事	ミ務経	験等							
当該和 関する 経験 <i>の</i>	る実務												
備考	夜間	間部の授業は45分×2=1コマで換算	する	. 1 E	ョのコ	マ数り	 よ最大	[2□ ¬	7。				

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Word 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050055
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	ミニテストの得点	20		0	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況	0						0	0			0
5	課題の達成状況	0						0				
6	課題の提出状況	0						0				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								0		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	
再試験	

(有).	無
(有)·	無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い 知識を併せ持つ。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

事前	学習	各授業内容の事前調査(事前の指	- <u>-</u> 示内和	_ _ 容や参	- - 考資料	- <u>-</u> 斗等に	つい	て)					
充当日	時間	 各授業毎に約30分											
事後	学習	学習した内容をテキストで復習する	る。										
充当日	時間	約30分間程度											
使用記	テキスト	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキス	パート	」日経	BP社、	ISBN	978429	960500	62				
参考	資料	なし											
参照方	テ゛ータ	なし											
		成績評価の方法及び記	平価項	目(成績に	反映	させる	る割合	7)				
abla		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	\bigcirc	0	0	0	0			$\mid \vdash \mid$	\square	0
-	対象系	斗目の検定対策等答練の得点 	の検定対策等答練の得点 10 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○										
-		ストの得点 20 ○ ○ ○ ○ ○											
-		To To To To To To To To											
-		複音に対する実施状況											
-													
\vdash		フ提出状況 図の状況 (2/3以上の出席に対して) 5											
\vdash		度の低い学生への学習支援	5								0		
9													
10													
追試縣	食・再	試験の有無	追試	験・耳	 手試験	に関っ	する特	記事	項				
追討	t験	後、無											
再試	験	<u></u> 											
		() 科目担	当教	員の実	· 務経	験等							
					C 3/3 /1	J (13							
当該科関する経験の	実務	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発 知識を併せ持つ。	%に従፤	事した糸	圣験を持	寺つ。I	CTリテ	・ラシー	-やプロ	1グラミ	ミングに	こ関する	3深い
備考	- 夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	, 1 F	 ∃のコ	マ数し	<u>ま</u> ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	2= >	7.0				
בי נחע	I/\ IF		ره ر -	∪ -	, . , ,	· »^ v	<i>∽4</i> Х/\	,_	· U				

<u>></u>	ノラバ	これo.	授業科	↓目名(E	本語)				授業	科目	名(英	語)		
22	2BDI	N10013		IT基礎						IT	Basic			
	学科	4名	コース名	学年	学期 単位数	女 週コ	₹	方法		禾	斗目担	当教真	員	
部、事	務・情報	ビジネス学科 ビジネス学科 _{>} ビジネス学科	なし	1	前 1	1		実習			岩野	桂子	_	
授	ICTリ :	テラシーの学	習を中心に、情報			します。	特に	情報を	扱う上	で重要	な法律	や条例	」、施行	細則
業の	などに	基づいた実剤	外的な内容を課題と	して取り組	lみます。									
概														
要			 体的な到達目標	更と DP等/	への対応			1	1	2	3	4	5	6
目標	≖ 1		************************************			* 11 でき;	<u></u>			0				
目標			型						0	0			0	
目標			生知識について、第三:						0	0	0			
目標	票 4	各章・各単元	毎に設定された基本	事項を判別し	.、応用できる	0			0	0			0	
目標	票 5	学習内容を社	会生活へ一般化させ	る計画を立案	できる。							0		0
目標	票 6	学習内容を社	会生活へ一般化させ	る計画を実行	できる。						0	0	0	0
目標	票 7	検定・資格取	7得に向けた学習計画	を立案できる	0					0			0	0
目標	票8	検定・資格取	7得に向けた学習計画	を実行できる	0								\circ	0
目標	_		学生への学習支援が								0			0
目標	1 0	予習・復習の	習慣が身につき、問	題意識を持つ	ことが出来る	0							\circ	0
週数				授業計画	(授業の身	具体的な	実施	西内容])					
	-		題などの説明、ICT	リテラシー	について									
2		テラシー①												
		テラシー②												
4		テラシー③												
5 6	-	テラシー④ テラシー⑤												
7	課題等													
8	発表会													
9		<u>.</u> 忍定試験 総	まとめ											
10			ィードバック											
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21	<u> </u>													
22														

		時間外学習の計画(予習・復習・その他)											
事前	了学習	各授業内容の事前調査(事前の指	示内容	容や参	考資	料等に	こつい	て)					
充当	時間	 各授業毎に約30分											
事後	学習	課題に取り組む。学習した内容を	テキス	ストで	後習-	する。							
充当	時間	約30分間程度											
使用]テキスト	P検3級テキスト(P検合格シリーズ) ISB	N-13	: 978-	499064	16530							
参考	資料	なし											
参照	₹デ [*] −タ	なし											
		成績評価の方法及び記	平価項	目(成績に	こ反映	させる	る割合	ì)				
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	0				0			0			
3	<i>\$=7</i>	テストの得点	20		0	0	0						
4	予習	・復習に対する実施状況	0						0	0			0

追試験・再試験の有無

課題の達成状況

課題の提出状況

出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)

理解度の低い学生への学習支援

5

7

9

追試験・再試験に関する特記事項

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

追試験	19・無	
再試験	Ϡ ·無	

10

10

0

0

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

19

202122

発表会

単位認定試験 総まとめ

単位認定試験のフィードバック

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし。
参考資料	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	\circ	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				\circ			0			
3	ミニテストの得点	20		\circ	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況	0						0	0			0
5	課題の達成状況	10						0				
6	課題の提出状況	10						0				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	0									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								\circ		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	19・無	
再試験	須·無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし。
参考資料	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				0			0			
3	ミニテストの得点	20		0	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況	0						0	0			0
5	課題の達成状況	10						0				
6	課題の提出状況	10						0				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	0									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								0		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

X 1 0.37 C	19・無	
再試験	洵·無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い 知識を併せ持つ。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

Š	ンラバ	にスNo.		授業科	目名([日本語)				授業	科目	名(英	に語)		
22	2BDI	N10071	9071 英語 I									Engl	ish I			
	学科	 ¥名		<u>ー</u> ス名	.⊐マ											
	ショップ	· 「 ビジネス学科 II ビジネス学科 II		 なし	$\frac{1}{1}$	学期 前	2		1	講義			金	薫好		
	光・ホテル	レビジネス学科Ⅱ														
授業		・ 」の導 習得します。														
		百舟しょす。 できるコミ <i>=</i>						/坐个1	J/4 X	ム叫で	CTH!		* 977	C (14)	۱۰۰۰۲ کی۔	70 6
概要																
女		B	1/未的 4>		レ DD空	^ D t	+14				1 4			1 4		
	 4	<u> </u>									1	2	3	4	5	6
目標		各科目の基礎										0				
目標		各科目の基礎					に対策を	と東正で	ごさる。		0	0			0	
目標目標		各科目の基礎 各章・各単元					ブキス				0	0	0		0	
目標	_	学習内容を社	-								\parallel			0		0
目標		学習内容を社									╂—		0	\circ	0	0
目標		検定・資格取									╢	0			0	0
目標		検定・資格取	双得に向け	た学習計画を	実行でき	<u></u> る。					$\dagger \vdash$				0	0
目標	票 9	理解度の低い	か低い学生への学習支援ができる。								0					
目標	1 0	予習・復習の	の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。							0						
週数					受業計画	〔〔授〕	業の具	体的	な実涯	施内容	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	
1	ガイク	ダンス及び英	語基礎力	確認模試												
2	おもっ	てなし英会話	1:【案内	R業務】売り	場の場所	fや営業	時間の	案内								
3	おもっ	てなし英会話	2:【受付	寸業務】病院	売などでの	の受付対	応									
4	おもっ	てなし英会話	3:【会詞	計案内】金額	頁提示やす	支払い方	法を案	内								
5	おもっ	てなし英会話	4:【商品	品案内】売り)場で商品	品の有無	や特徴	を表現	見でき	る						
6	おもっ	てなし英会話	5:【飲1	食店】注文を	を受ける、	席の予	約を受	ける								
7	-	てなし英会話														
8		てなし英会話														
9		てなし英会話						- Im. I								
10	-	てなし英会話														
11		てなし英会話														
12 13	-	てなし英会話 							ち旦の	20日2年	rk:					
14		てなし英会話 てなし英会話									<i>//</i> U					
15	-	てなし英会話														
16		てなし英会話							_ , 。	-						
17	-	な英語表現1														
18	丁寧和	な英語表現2万		ニング強化												
19	単位記	忍定試験														
20	単位記	忍定試験のフ	ィードバ	ック、総復	羽											_
21																
22																

事前学習	指定された学習範囲を予習する(単語、	語彙	、文》	去、発	音他)						
充当時間													
事後学習	学習範囲を復習する。												
充当時間													
使用テキスト	「聞く」「話す」を徹底強化!接客英会詞	舌ワー:	クブック	を基礎組	扁(カシ	ンオ)	英語対	応能力 [;]	検定準	 拠			
参考資料	なし												
参照データ	なし												
	成績評価の方法及び詞	評価項	見目 ()	或績に	- 反映	させる	る割合	ì)					
	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1 単位		60	0	0	0	0	0			\vdash		0	
	 科目の検定対策等答練の得点	10				0			0				
	- 14日の快足が来 り日本の日本 - テストの得点					\vdash				\vdash			
	ストの得点 20 〇 <												
	D達成状況												
	提出状況												
	一率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0		
	度の低い学生への学習支援	5								0			
9													
10													
追試験・再	写試験の有無	追試	験・阝	討試験	に関っ	する特	記事	項					
追試験	[
再試験													
	科目担	当教	員の実	務経	験等								
当該科目に 関する実務	Ⅱ公益財団法人日本国際連合協会勤務。長年	Fにわ7	たり、副	吾学関連	車の業績	答を担:	当し、	年間を	通じて	出張に	よる海ク	外渡	
経験の内容	INDER SECTION OF SECTI												
	JL												
備考を	 間部の授業は45分×2=1コマで換算	ゴナス	1 ⊏	ヨ のコ	マ数Ⅰ	↑ 最↓	-2 ¬ ¬	7					
/m 行 仪	円 アンプス末は40万 ハビーエコマ で授昇	- y W	о <u>т</u> Г	4 v) —	、 女人 /	ム取入	_ _	0					

シラ	バスNo.	授業科目	名(日	本語))					授業	科目名	名 (英	語)							
222BD	DN10072		授業科目名(日本語) 英語 II							English II										
学	科名	コース名	コース名 学年 学期 単位数 週コマ								禾	斗目担	当教員	Ę.						
部、事務・情	プビジネス学科 報ビジネス学科 テルビジネス学科	なし	なし 2 前 2 1									金	薫好							
^^	Ⅰの実践として 標470点)の学	て前半はスピーキン <i>ク</i> 習をします。	*とリス <i>=</i>	ングを	主実践的	に鍛え	えます	- - 。後	後半は	英語基	基礎力 (の要請し	として「	ΓΟΕΙC	対策					
	具	体的な到達目標は	∠DP等·	への対	ໄ応					1	2	3	4	5	6					
目標1	各科目の基礎	知識について、自分の行	景意分野と	不得意:	分野に判	別でき	きる。			0	0									
目標 2	各科目の基礎	知識について、得意分野	野と不得意	分野毎	に対策を	策定で	できる。	>		0	0			0						
目標3	各科目の基礎	知識について、第三者に	こ説明でき	る。						0	0	0								
目標4	各章・各単元	毎に設定された基本事項	頁を判別し	、 応用 [・]	できる。					0	0			0						
目標 5	学習内容を社	会生活へ一般化させる	十画を立案	こできる 。	>								0		0					
目標 6	学習内容を社	会生活へ一般化させる	十画を実行	「できる。	>							\circ	\circ	0	0					
目標7	検定・資格取	得に向けた学習計画を	上案できる	00							0			0	0					
目標8	検定・資格取	得に向けた学習計画を	実行できる	0 0										0	\circ					
目標 9	理解度の低い	学生への学習支援ができ	生への学習支援ができる。							\circ			0							
目標10	予習・復習の	習慣が身につき、問題	慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。										0	\circ						
週数		授	業計画	(授美	業の具	本的	な実	施内	(容/											
1 丁寧	罩な英語表現1万	及びリスニング強化																		
2 丁寧	☑な英語表現2及	及びリスニング強化																		
3 丁寧	☑な英語表現3万	及びリスニング強化																		
4 丁寧	電な英語表現64	及びリスニング強化																		
5 丁寧	⊠な英語表現5万	及びリスニング強化																		
6 Les	son1、Lesson	2:写真描写問題と応	答問題の	クコツ																
7 Les	son3、Lesson	4:質問と応答の選び	が方																	
8 Les	son5、Lesson	6:動作、状態、キー	-ワードカ	から正し	_い答え	を見	抜く													
9 Les	son7、Lesson	8:品詞、進行形、過	過去形の復	复習																
10 Les	son9、Lesson	10:英語の音声変化	と典型的	な設問	の流れ	と覚え	こる													
11 Les	son11、Lesso	n12:Part7の典型的	な文書形	式に慣	れる															
12 Les	son13、Lesso	n14:代名詞と形容詞	節の注意	点意																
13 Les	son15、Lesso	n16:相関語句と接線	売詞系の)	主意点																
		n20:図表問題の攻¤																		
		n22:複数の文章かり																		
<u> </u>		n24:前後の流れかり			3															
- - -		n26:口語的なやり耳	又りに慣れ	れる																
<u> </u>	son27:口語的																			
19 総復		定試験																		
	ī補強 ————————————————————————————————————																			
21																				
22																				

事前学習	指定された学習範囲を予習する(単語、語彙、文法、発音他)
	約1時間程度
事後学習	学習範囲で「わからないところ」(間違えたところ)を自分で解き直す。その他の部分についても、次週の授業 に備えて復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	はじめてのTOEIC® L&R テスト きほんのきほん 石井洋佑 (著), Karl Rosvold (著), Michael McDowell (著) ISBN-13: 978-4883197613
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	\circ	\circ	0	0	0					\circ
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			\circ			
3	ミニテストの得点	20		\circ	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況							\circ	\circ			\circ
5	課題の達成状況							\circ				
6	課題の提出状況							\circ				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								0		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	有・無	
再試験	利·無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

公益財団法人日本国際連合協会勤務。長年にわたり、語学関連の業務を担当し、年間を通じて出張による海外渡 航多数あり。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

	ンラバ	、スNo.	授業	\$科目名(E	本語	(-)					授業	科目	名(英	語)		
22	22BD	N10001		サービス排	妾遇						S	ervic	e sk	ill		
		斗名	コース名	当 学年	学期	単位数	女	週コマ		方法		利	斗目担	当教真	員	
部、事	務・情報	ビジネス学科 ビジネス学科 レビジネス学科	なし	1	前	1		1		講義			花澤	徹		
,~			:「サービス」 <i>の</i>													
			頁することで、)全員合格を目標						jを	構築さ	せます	;	ナービス	ス接遇権	食定試懸	矣2
概	////		2296666		. , .	, 9,1,1 E	1 ()	0								
要																
		具	体的な到達目	間標とDP等	への対	讨応					1	2	3	4	5	6
目相	目標1 各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。										0	0				
目標	票 2	各科目の基礎	知識について、得	意分野と不得意	意分野毎	に対策	を策定	ごできる。	0		0	0			0	
目標	票 3	各科目の基礎	知識について、第	三者に説明でる	きる。						0	0	0			
	票 4	各章・各単元	毎に設定された基	本事項を判別し	ノ、応用	できる。	0				0	0			0	
-	票 5		会生活へ一般化さ											0		0
	票 6 ———		会生活へ一般化さ			0							0	0	0	0
-	票 7		得に向けた学習計									0			0	0
	票 8		得に向けた学習計		5.										0	0
	票 9 ī.1.0		学生への学習支援		0 7 h ti	>ılı ± 7							0			0
	1 0	予督・復智の	習慣が身につき、 					, , ,	.,						0	0
週数	علاد تت	W n n l A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	FA = 100.75.=V.00	授業計画	•			りな実	施	内容 <i>)</i>						
1			験の概要説明、 					±	11.57	Lid	トニュ	L)				
3			ッフの資質、 II 識問題のプリン										7 L)			
4			戦问題のブリン 遇用語のプリン			XIX	1又形	(按應)	竹亩	· ()	<i>) / r</i>	一小	Λ r)			
5	-	•	週用品のフリン ──── 識問題のプリン													
6	総復		IR(F] (CZ ∨) / / / /	1 13.7 7.1	,											
7	-	ュ 問題の答案練 [®]														
8		問題の答案練														
9																
10	単位	認定試験のフ	ィードバック													
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22	22															

事前学習	指定された範囲のテキストを読み、自習する。
充当時間	30分程度
事後学習	学習した内容の復習を行い、指示された課題を行う(宿題)。
充当時間	
使用テキスト	サービス接遇検定 2級公式テキスト(実務技能検定協会)、サービス接遇検定 2級実問題集(第46回~第52回)(実務技 能検定協会)
	能検定協会) その都度指定して、授業内で配布予定。

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	20				0			\circ			
3	ミニテストの得点	0		\circ	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況	0						0	\circ			0
5	課題の達成状況	0						0				
6	課題の提出状況	0						\circ				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	20									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								\circ		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	有・無	
再試験	有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

浦安ブライトンホテル(現 浦安ブライトンホテル東京ベイ)で婚礼営業チーフとして婚礼営業及び宴会サービスを経験。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

222BDN10031

19

20

21 22 総復習、単位認定試験

単位認定試験のフィードバック

時事・教養Ⅰ

Current affairs & General education I

コース名 学科名 科目担当教員 学年 学期 単位数 週コマ 経営・ショップビジネス学科Ⅱ サトウ ヒロヨシ 部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ なし 2 1 1 講義 前 佐藤 博敬 部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ SPI3(Webテスティング、テストセンター、ペーパーテスティング、インハウスCBTなど)、玉手箱、SCOA、一般教養試験などに対応できるた ┃めの基礎能力を養成する。主に小学校から高校までに学習してきた範囲・科目を中心に授業を実施。毎回ドリルを実施し の て「わかるところ」と「わからないところ」を明確に区別することを最大の目標とする。 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。 \bigcirc \bigcirc 目標2 各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標3 各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標4 \bigcirc 各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。 \bigcirc \bigcirc 目標5 \bigcirc 学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。 \bigcirc 目標6 学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標7 検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 \bigcirc 検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。 目標9 理解度の低い学生への学習支援ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標10 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 \bigcirc 授業計画(授業の具体的な実施内容) 週数 1 自己紹介、授業説明、SPI3模擬試験 第1回 2 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」言語 対義語、二語の関係、漢字ドリルNo.1 3 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」言語 漢字、文章理解、漢字ドリルNo.2 4 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 分数・小数の計算、計算ドリルNo.1 5 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 四則の混合算、計算ドリルNo.2 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 割合、計算ドリルNo.3 6 7 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 比(の計算)、計算ドリルNo.4 8 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 推論、計算ドリルNo.5 9 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 料金計算、計算ドリルNo.6 10 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 平均の計算、計算ドリルNo.7 11 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 速さ・時間・距離、計算ドリルNo.8 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 流水算、通過算、計算ドリルNo.9 12 13 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 仕事算(+水槽算)、年齢算、計算ドリルNo.10 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 濃度算、計算ドリルNo.11 14 15 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 連立方程式、計算ドリルNo.12 16 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 集合、計算ドリルNo.13 17 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 表の読み取り、計算ドリルNo.14 18 「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 順列・組合せ、確率、計算ドリルNo.15

		7													
事前	了学習	指定された「反転学習」プリントを自習する(数学・国語)													
充当	時間	約30分間程度													
±.//	: 쓰기기	学習範囲で印をつけた「わからないところ) (F	間違えが	たところ	3)を1	自分では	解き直	す。次語	週の小	テスト	対策に	配布		
争侈	学習	されたプリント類を自習する。													
充当	時間	約30分間程度													
使用	テキスト	「就職試験サポートドリル」実務教育出版、220501(1904)、「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」実務教育 出版													
参考	資料	反転学習用プリント (要提出)、課題プリント (提出不要)													
参照	ママップ マタマ マスティス マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マイ・マ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
	成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10														
1	単位記	Right Ri													
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	10				0			0					
3		テストの得点	10		0	0	0								
4		・復習に対する実施状況	5						0	0			0		
5		D達成状況	5						0				\parallel		
6 7		D提出状況 率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5						0			0			
8		〒の代が、(2/35/15 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	5								0		\vdash		
9													\vdash		
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・耳	 写試験	·に関 ⁻	よる特	記事	 項						
	試験	(有)·無		-3/	34 000	2-5		, 40 ,							
ļ	試験	<u> </u>													
		科目担	当教	員の実	ミ務経.	験等									
	科目に														
	る実務 の内容														
備考	夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	ョのコ	マ数に	は最大	2==	7 0						

222BDN10032

21 22 時事・教養Ⅱ

Current affairs & General education II

コース名 科目担当教員 学科名 学年 学期 単位数 週コマ 方法 経営・ショップビジネス学科Ⅱ サトウ ヒロヨシ 部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ なし 後 2 1 1 講義 佐藤 博敬 部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ SPI3(Webテスティング、テストセンター、ペーパーテスティング、インハウスCBTなど)、玉手箱、SCOA、一般教養試験などに対応できる実 ┃力を養成する。主に多くの学生が苦手とする非言語分野(算数、数学)を中心に授業実施。最初と最後に模擬試験を実施 の して効果測定する。 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。 \bigcirc 0 目標2 各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標3 各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標4 \bigcirc 各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。 \bigcirc \bigcirc 目標5 \bigcirc 学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。 \bigcirc 目標6 学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標7 検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 \bigcirc 検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。 目標9 理解度の低い学生への学習支援ができる。 \bigcirc 0 \bigcirc 目標10 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 \bigcirc 授業計画(授業の具体的な実施内容) 週数 1 言語分野 漢字、熟語、ことわざ SPI3模擬試験 第2回 2 「基礎からはじめる問題集」言語 対義語、二語の関係、漢字ドリルNo.1 3 「基礎からはじめる問題集」言語 熟語、語の用法、漢字ドリルNo.2 4 「基礎からはじめる問題集 | 非言語 分割払い、損益計算、漢字ドリルNo.3 5 「基礎からはじめる問題集」非言語 料金の割引、代金の精算(清算)、漢字ドリルNo.4 「基礎からはじめる問題集」非言語 速さ、通過算、流水算、漢字ドリルNo.5 6 7 「基礎からはじめる問題集」非言語 表の読み取り、漢字ドリルNo.6 8 「基礎からはじめる問題集」非言語 集計表、集合、漢字ドリルNo.7 9 「基礎からはじめる問題集」非言語 推論1 (正誤)、漢字ドリルNo.8 10 「基礎からはじめる問題集」 非言語 推論2 (順位付け)、漢字ドリルNo.9 「基礎からはじめる問題集」非言語 推論3 (内訳)、漢字ドリルNo.10 11 12 「基礎からはじめる問題集」非言語 推論4 (人口密度・濃度・増加率)、漢字ドリルNo.11 13 「基礎からはじめる問題集」非言語 組合せ・確率、漢字ドリルNo.12 「基礎からはじめる問題集」非言語 物の流れと比率、漢字ドリルNo.13 14 15 「基礎からはじめる問題集」非言語 条件と領域、グラフの領域、漢字ドリルNo.14 16 「基礎からはじめる問題集」非言語 長文の読み取り、資料の読み取り、漢字ドリルNo.15 17 総復習 18 単位認定試験 19 単位認定試験問題 フィードバック 20 総復習 SPI3模擬試験 第3回

事前	丁学習	指定された「反転学習」プリントを自習する(数学・国語)												
去业	供問	 約30分間程度												
兀=	时间		1 /E	明(幸)。	- 1 5	7 \ + 1	5 N ~ 4	の七古	+ \\	· E o .l.		++ ^/- ! - '	 -	
事後	学習	学習範囲で印をつけた「わからないところ されたプリント類を自習する。) (I	ョ遅ス /	2	O) & E	日分で月	旦ら料	9。次	適の小い	ア	刈束に	11000000000000000000000000000000000000	
充当	時間	約30分間程度												
使用	ラキスト	「SPI 基礎からはじめる問題集」実務教 オフィス海編、ナツメ社	育出版	ξ、 Γ20)22最新	f版 虫	巴上最強	魚SPI&	テスト	センタ	一超実	戦問題	集」	
参考	資料	反転学習用プリント(要提出)、課題プリント(提出不要)												
参照	『テ゛ータ	なし												
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10												
1	単位記	認定試験の筆記試験の得点 60 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○												
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	10				0			0				
3	11/	テストの得点	10		\circ	0	0							
4	予習	・復習に対する実施状況	5						\circ	\circ			\circ	
5	課題の	の達成状況	5						\circ					
6	課題(の提出状況	5						\circ					
7	出席率	率の状況 (2/3以上の出席に対して)										0		
8	理解原	度の低い学生への学習支援	5								0			
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・戸	写試験	に関っ	する特	記事	項					
追	試験	(有·無												
再	試験	(有)·無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等								
関す	当該科目に関する実務経験の内容													
備考	夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	一のコ	マ数り	ま最大	2コマ	7 0					

事前		各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)													
充当	時間	 各授業毎に約1時間		. — — — — — —											
事後	(学習	学習した内容について、指示されば	た課題	題があ	れば1	行う((宿題)) 。							
充当	時間	約30分~1時間程度													
使用	ラテキスト	「世界一わかりやすい 業界と業種がわか	・る&j	本に題	21」イ	ノウ著	う、ソシ	/ム刊、	ISBN-	-13: 97	'8-4802	261219	7		
参考	資料	なし													
参照	呉テ゛ータ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目													
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	\circ	\circ	0	0	0					\circ		
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	10				0			0					
3	S = 7	テストの得点	20		\bigcirc	0	0								
4	予習	・復習に対する実施状況							\circ	\circ			0		
5	課題の	の達成状況							\bigcirc						
6	課題の	の提出状況							\bigcirc						
7	出席率	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0			
8	理解原	 度の低い学生への学習支援	5								0				
9															
10															
追試追	験・再 試験 試験	試験の有無 有・無 有・無	追試	験・戸	 手試験	に関っ	する特	記事	項 ————————————————————————————————————						
		科目担	当教	員の実	ミ務経	験等									
関す経験	科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容														
備考	夜 夜	間部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	ョのコ	マ数に	ま最大	2==	7。						

事前学習	特になし													
充当時間	 特になし													
事後学習	レポート作成、提出													
充当時間	1 時間程度													
使用テキスト	特になし													
参考資料	特になし													
参照データ	特になし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
abla	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1 科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	0	0	0						0		
2 科目(こ対する第三者評価の得点	30	0	0	0	0			0		0			
3 課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
	の達成状況	10		0	0	0	0			0		0		
-	7) 提出状況	10					0	0						
	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
<u> </u>	学生への教育的支援 	10							0					
9														
10														
追試験・再	試験の有無	追試	験・₽	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験 再試験	(有・無) (有・無)													
	科目担	.当教.	員の実	ミ務経.	 験等									
当該科目に 関する実務 経験の内容														
備考 夜間	備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。													

21 22 単位認定試験(発表資料、レポート提出などを含め総合評価)

事前学習	特になし													
充当時間	 特になし													
事後学習	レポート作成、提出													
充当時間	1 時間程度													
使用テキスト	特になし													
参考資料	特になし													
参照データ	特になし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
abla	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1 科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	0	0	0						0		
2 科目(こ対する第三者評価の得点	30	0	0	0	0			0		0			
3 課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
	の達成状況	10		0	0	0	0			0		0		
-	7) 提出状況	10					0	0						
	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
<u> </u>	学生への教育的支援 	10							0					
9														
10														
追試験・再	試験の有無	追試	験・₽	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験 再試験	(有・無) (有・無)													
	科目担	.当教.	員の実	ミ務経.	 験等									
当該科目に 関する実務 経験の内容														
備考 夜間	備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。													

事前	前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明													
充当	6時間	1 時間程度													
事後	(学習	レポート作成、提出													
充当	時間	1 時間程度													
使用	ラテキスト	なし													
参考	資料	研修先によって資料を事前準備													
参照	呉データ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	────────────────────────────────────											0		
2	科目に	こ対する第三者評価の得点	30	\circ	\circ	0	0			0		0			
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	の達成状況	10		0	0	0	0			0		0		
6	課題の	の提出状況	10					0	0						
7	出席率	卒の状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\circ						\circ					
8	他の等	学生への教育的支援	10							\circ					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・₹	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	有·無 (有)·無													
1 3 1	120/9/		当教	昌の宝	■発経!	 騇筀									
					C 173 /1-12	377 13									
関す	科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容														
/± +															
備考 	備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。														

22

事前	前学習	見学先、研修目的、レポートの作用	或方法	去等の	説明									
充当	6時間	1 時間程度												
事後	(学習	レポート作成、提出												
充当	時間	1 時間程度												
使用	ラテキスト	なし												
参考	資料	研修先によって資料を事前準備												
参照	呉データ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目(成績に	反映	させる	る割合	ì)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2 科目に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
3 課題に対する目標設定状況 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
4														
5	課題の	の達成状況	10		0	0	0	0			0		0	
6	課題の	の提出状況	10					0	0					
7	出席率	をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\circ						\circ				
8	他の等	学生への教育的支援	10							\circ				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・₹	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	有·無 (有)·無												
1 3 1	120/9/		当 教	昌の宝	■発経!	 騇筀								
			177.		(1)) (11.	377 13								
関す	科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容													
/± +	<u>, + </u> -	ᆸᅁᇄᇄᇄᇄᇄᇄᇬᇬᇸᅩᅩᆉᄵ	·+ ¬	1 -]	 业 <i>L</i> ,	→ 目 '	- O — -						
備考	で 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	. IE	コリコ	マ数り	ま最大	217	70					

シラノ	ベスNo.				授業	科目名	名(英	語)					
222BD	N20011	インタ-	ーンシップ	I				ļ	ntern	ship	l		
学		コース名	学年 学期	単位数	週口	14	方法		禾	斗目担	当教員	員	
	ネス学科 II 部、事務・ 部、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし	1 前	2			実習			東郷	睦		
業提携第	元企業の実務を	、入社前研修から基礎学びます。学生社員 導を受けて、自分が	として働くう	えで必要	な職場	のマナ	ーや基	፟≰本ル-	-ルを身				
	具任	体的な到達目標と	DP等への	対応				1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的な	を判別し、主体的に参加]できる。					0	0	0			
目標 2	各科目の学習目	目標を自分で設定し、実	2行できる。					0	\circ				
目標3	各科目の学習目	目標の具体的実行案を自	分で企画・立	案できる。				0	\circ				
目標4	各科目の学習目	目標の具体的実行案を実	2行できる。					0	\circ				
目標 5	各科目の学習目	目標の具体的実行案を振	り返り、反省	点・改善点	点を列挙:	できる。				0	0		
目標 6	目標 6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。												0
目標7	目標 7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。									0	0		
目標8	目標 8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。												0
目標 9													0
目標10	検定・資格取得	导に向けた学習計画を立	案できる。									0	0
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	~5月のインター	ーンシップについてレ	- ポート作成技										
20 21													
22													

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目(.	成績に	反映	させる	る割合	<u>`</u>)						
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	日に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 0 0 0 0 0													
3	課題に	ョに対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目担当教員の実務経験等 [科目に さま務 はの内容 当該提携企業の職場の正社員が担当。														

シラバスNo. 授業科目 3						目名	3 (E]本	語))							授第	€科	·目律	名(英	語))		
22	2BDN	120012			インタ	7 —	ンシ	ッラ	゚゚゚゚゚									Int	ern	ship	II			
	学科	名		コージ	ス名		学年	学	期	単位	立数		週コ	₹	į	方法			禾	斗目担	当	教員	∄	
情報ビジネ	ス学科Ⅱ部、	ス学科 II 部、事務・ 観光・ホテルビジ 務員学科 II 部		な	L		1	È	前	2	2					実習				東绸	3	陸		
業	容の理解	企業において 解、担当業務 業務を、トレ	多の運営	営など))の修行	导を行	行うご	2 b t	が出	来	るよ	うに	こ取り	り組。	みる	ます。	職場	の上						
			体的	 な到記	主目標	とD	P等	~ O	マシ	応							1	1	2	3		1	5	6
目標	■ 1	各科目の目的																╡늗		0		퓜		H
日標		各科目の学習															0	┨┝	0			\dashv		
目標		各科目の学習							ン案:	でき	る。							Ⅎ⊢	0			-		
目標		各科目の学習															0	Ⅎ⊢	0					
目標	票 5	 各科目の学習	目標の	具体的	 実行案を	振り	返り、	反省	当点	・改	善点	を列	列挙で	できる	5.			╁		0				
目標	標 6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。											1						\circ						
目標	標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。											1	0	0		$\overline{)}$								
目標	標8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。																	0						
目標	標 9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。																0							
目標	1 0	検定・資格取	7得に向	けた学 [?]	習計画を	立案	できる	ś.															0	0
					拉	受業	計画	į (<u>‡</u>	受美	美の)具 [′]	体的	的な	実力	施[内容	.)							
1	6月~7	7月のインタ	ーンシ	ップに	こついて	レナ	∜−	作成	提出	出														
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9 10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																-								
22																								

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目(.	成績に	反映	させる	る割合	<u>`</u>)						
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	日に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 0 0 0 0 0													
3	課題に	ョに対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)・無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目担当教員の実務経験等 [科目に さま務 はの内容 当該提携企業の職場の正社員が担当。														

シラバスNo. 授業科目名(日本語)										授業	科目	名(英	語)			
22	22BDI	N20013	1	ンター	-ンシ	ップ۱	II					Intern	shipl	II		
	学科	斗名	コース	名	学年	学期	単位数	女 週]コマ	方法		禾	斗目担	当教真	員	
情報ビジス	ネス学科Ⅱ音	ネス学科 II 部、事務・ 豚、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし		1	前	2			実習	3		東郷	睦		
業	容の理	2解、担当業務	て、実務研修((条の運営など)。 う、職場におけ	の修得を	行うこ	ことがと	出来る。	ようにI	取り組み	みます	。次年	度に後輩	を とうしゅ とうしゅう とうしゅう こうしゅう とうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう			
		具	 体的な到達	 目標とI	DP等 <i>·</i>	へのタ	寸応				1	2	3	4	5	6
目相	票 1	各科目の目的]を判別し、主体的	りに参加っ	できる。							0	0			
	票 2		目標を自分で設定									0				
	票 3						できる	0				0				
目相	票 4	各科目の学習		行案を実行	行できる							0				
目相	票 5	各科目の学習		行案を振り	り返り、	反省点	・改善	点を列き	羊できる	ó.	╁		0	0		
目相	標 6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。										1					0
目相	標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。											0	0	0		
目相	標 8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。															0
目相	目標 9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。														0	
目標	10	検定・資格取	7得に向けた学習	計画を立刻	案できる										0	0
				授第		(授	業の具	具体的	な実施	施内容	字)					
1	8月~	·9月のインタ	ーンシップにつ)いてレ;	ポート′	作成提	出									
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16 17	<u> </u>															
18																
19																
20	-															
21																
22																
لتـــا																

事前	学習	「月間レポート」の作成(月間目村	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善 善策等	()										
	時間	約30分間程度													
<u></u>															
使用]テキスト	なし 													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート	」返 [±]	Ţ											
参照	マデータ	なし													
		成績評価の方法及び記	亚布理	in (成績!	- 巨冊	ナ井:	ス宝	~)						
			1 Ш <i>-</i> 5	目標1	目標2	目標3	目標4		目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	IC対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0													
2	科目に	1に対する第三者評価の得点 30 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		\circ				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		0	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	0						
7	出席率	区の状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
8	他の鳥	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・戸	写試験	に関す	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
	式験														
		科目担	当教.	員の実	ミ務経	験等									
関す	科目担当教員の実務経験等														

3	シラバスNo. 授業科目名(日本語)															授	業	科目	名	(英	語)				
22	2BDN	J20014		1	イング	ター	ンシ	ノツ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	IV								ı	nter	ns	shipl	/			
	学科	 名		コース	.名			=	学期	月单	単位熱	数	週:	コマ		方法				科	目担	当教	員		
情報ビジネ	ネス学科 部、	ス学科 部、事務・ 、観光・ホテルビジ		なし			1		後		2					実習					東郷	睦			
		企業において 担当業務の選																							容の
		具	体的7	な到達	目標	₹とC)P等	<u></u>	.の;	対ル	心							1	2		3	4		5	6
目標	票 1	各科目の目的	を判別	し、主体	的に着	参加で	できる	0										\supset	0		0		ĪĒ		
目標	票 2	各科目の学習	目標を	自分で設	定し、	実行	うでき	る。										C	0	╢			⇈		
目標	票 3	各科目の学習	引目標の.	具体的実	行案を	を自分	で企	画・	· 立筹	製で	きる							\supset	0	1			⇈		
目標	票 4	各科目の学習	引目標の.	具体的実	行案を	を実行	jでき	る。										\subset	0						
目標	票 5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙でき									る。						0	0								
目標	票 6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。																				0				
目標	標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。													0		0	0	$\ \cdot \ $							
目標	票 8	学習内容を今	後のキ	ャリア形	成へと	と一般	设化す	·る計	十画だ	が立	案で	ぎきる	0 0												0
目標	票 9	学習内容を今	後のキ	ャリア形	成へと	と一般	设化で	きる	٥٥.																0
目標	1 0	検定・資格取	得に向	けた学習	計画を	を立案	₹でき	る。																C	0
週数					1	授業	計画	画	(授	業	の』	具体	的7	な実	施	内容	F)								
1	10月~	~11月のイン	ターン	シップり	につし	ハてし	ンポ-	<u>-</u> ト	作成		:出														
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15										_															
16																									
17																									
18																									
19																									
20																									
21	1																								

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目(.	成績に	反映	させる	る割合	<u>`</u>)						
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	日に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 0 0 0 0 0													
3	課題に	ョに対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)・無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目担当教員の実務経験等 [科目に さま務 はの内容 当該提携企業の職場の正社員が担当。														

シラノ				授業	科目名	名(英	語)							
222BD	N20015	インタ	! ーンシ	ップヽ	/				ļ	ntern	ship\	J		
学	科名	コース名	学年	学期	単位数	週:	1 7	方法		禾	斗目担	当教員	員	
情報ビジネス学科Ⅱ	ネス学科Ⅱ部、事務・ 部、観光・ホテルビジ 公務員学科Ⅱ部	なし	1	後	2			実習			東郷	睦		
,^ I		、実務研修(OJTな の視野拡大など)の												
	具	体的な到達目標	とDP等	へのタ	付応				1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的	を判別し、主体的に参	加できる。						0	\circ	0			
目標 2	各科目の学習	目標を自分で設定し、	実行できる	, ,					0	\circ				
目標3	各科目の学習	目標の具体的実行案を	自分で企画	・立案	できる。				0	\circ				
目標4	各科目の学習	目標の具体的実行案を	実行できる	ó.					0	\circ				
目標 5	各科目の学習	目標の具体的実行案を	振り返り、	反省点	・改善原	点を列挙	できる	0			0	\circ		
目標 6														0
目標7										0	0	0		
目標8	目標 8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。													0
目標 9	標9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。													0
目標10	検定・資格取	得に向けた学習計画を	立案できる	5 .									0	0
		扎	受業計画	i (授)	業の具	体的	な実施	他内容 <u>)</u>)					
1 12月	~1月のインタ	ィーンシップについて	てレポート	个作成拼	是出									
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び記	平価項	頁目(.	成績に	反映	させる	る割合	<u>`</u>)						
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	日に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 0 0 0 0 0													
3	課題に	ョに対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)・無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目担当教員の実務経験等 [科目に さま務 はの内容 当該提携企業の職場の正社員が担当。														

シラ	バスNo.	授業科目名(日本語)		授業	科目名	名(英	語)		
222BE	DN20016	インターンシップVI		[ntern	shipV	'		
学	· ·科名	ー コース名 学年 学期 単位数 週コ	マカ法		私	斗目担	当教員	Ę	
情報ビジネス学科	ジネス学科 部、事務・ 部、観光・ホテルビジ 、公務員学科 部	なし 1 後 2	実習			東郷	睦		
		て、実務研修(OJTなど)を経験しながら、提携先近 への視野拡大など)の修得により、提携先企業の中					知識((業務内]容の
	具	体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的	を判別し、主体的に参加できる。		0	0	0			
目標 2	各科目の学習	目標を自分で設定し、実行できる。		0	0				
目標3	各科目の学習	目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。		0	\circ				
目標4	各科目の学習	目標の具体的実行案を実行できる。		0	0				
目標 5	各科目の学習	目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙	できる。			\circ	0		
目標 6	更なる能力向	上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。							0
目標7	集団の中でリ	ーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。			\circ	\circ	0		
目標8	学習内容を今	後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。							0
目標 9	学習内容を今	後のキャリア形成へと一般化できる。							0
目標10	検定・資格取	得に向けた学習計画を立案できる。						0	0
		授業計画(授業の具体的な	(実施内容)						
1 2月	~3月のインタ	ーンシップについてレポート作成提出							
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
ı ←									

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)・無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目に る実務 の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。													

シラバ	ベスNo.	授業科目名(日本語)		授業	科目名	古 (英	語)		
222BDI	N20021	インターンシップVII		I	ntern	shipV	'II		
	<u></u> 斗名	コース名 学年 学期 単位数 週コ	マ 方法		乔.	4目担	当教員	Ę	•
	ネス学科 II 部、事務・ 耶、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし 2 前 2	実習			東郷	睦		
		て、実務研修(OJTなど)を経験しながら、提携先介 への視野拡大など)の修得により、提携先企業の中 ^元					5知識	(業務内]容の
	具	体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的]を判別し、主体的に参加できる。		0	0	0			
目標 2	各科目の学習	引標を自分で設定し、実行できる。		0	0				
目標3	各科目の学習	目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。		0	0				
目標4		引標の具体的実行案を実行できる。 		0	0				
目標 5	-	『目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙	できる。			0	0		
目標 6	-]上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。							0
目標7	·	ーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。			0	0	0		
目標8		後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。							0
目標 9	-	後のキャリア形成へと一般化できる。							0
目標10	快正・負恰以	報告に向けた学習計画を立案できる。 							0
1 (2年) 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	4月~5月のイ	/ ンターンシップについてレポート作成提出							
21									
22									

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)・無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目に る実務 の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。													

シラバ	ベスNo.	授業科目名(日本語)		授業	科目名	名 (英	語)		
222BDI	N20022	インターンシップ X		I	ntern	shipV	III		
	<u></u> 斗名	コース名 学年 学期 単位数 週コ	マ 方法		乔.	斗目担	当教員	Ę	•
	ネス学科 II 部、事務・ 耶、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし 2 前 2	実習			東郷	睦		
		て、実務研修(OJTなど)を経験しながら、提携先企業の中を					知識 (業務内]容の
	具	体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的]を判別し、主体的に参加できる。		0	0	0			
目標 2	各科目の学習	目標を自分で設定し、実行できる。		0	0				
目標3	各科目の学習	目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。		0	0				
目標 4	各科目の学習	目標の具体的実行案を実行できる。		0	0				
目標 5	各科目の学習	『目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙 [・] 	できる。			0	0		
目標 6	-]上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。							0
目標7	·	ーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。			0	0	0		
目標8		後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。							0
目標 9	-	後のキャリア形成へと一般化できる。							0
目標10	検定・貧格取	報告に向けた学習計画を立案できる。 							0
1 (2年) 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	6月~7月のイ	'ンターンシップについてレポート作成提出							
21									
22									

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目に る実務 の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。													

シラバ	ベスNo.	授業科目名(日本語)		授業	科目名	古(英	語)		
222BDI	N20023	インターンシップ X		I	ntern	shipl	X		
	<u></u> 斗名	コース名 学年 学期 単位数 週コ	マ 方法		乔.	4目担	当教員	Ę	•
	ネス学科 II 部、事務・ 耶、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし 2 前 2	実習			東郷	睦		
		て、実務研修(OJTなど)を経験しながら、提携先2 への視野拡大など)の修得により、提携先企業の中					5知識	(業務内]容の
	具	体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的]を判別し、主体的に参加できる。		0	0	0			
目標2	各科目の学習	目標を自分で設定し、実行できる。		0	0				
目標3	各科目の学習	『目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。		0	0				
目標 4	各科目の学習	目標の具体的実行案を実行できる。		0	0				
目標 5	各科目の学習	目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙: 	できる。			0	0		
目標 6	-]上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。							0
目標7	·	ーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。			0	0	0		
目標8		後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。							0
目標 9	-	後のキャリア形成へと一般化できる。							0
目標10	検定・貧格取	双得に向けた学習計画を立案できる。 							0
1 (2年) 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	8月~9月のイ	(ンターンシップについてレポート作成提出							
21									
22									

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目に る実務 の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。													

シラバ	バスNo.	授業科目	名(日本				授業	科目名	古(英	語)			
222BD	N20024	インタ	ーンシップ	プX				l	ntern	ship)	<		
学和	斗名	コース名	学年 学	期 単位数	て 週=	17	方法		禾	4目担	当教真	員	
	ネス学科 II 部、事務・ 耶、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし	2 1	多 2			実習			東郷	睦		
		て、実務研修(OJTな への視野拡大など)の									5知識	(業務内	容の
	具	体的な到達目標と	:DP等への	り対応				1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的]を判別し、主体的に参加	『できる。					0	\bigcirc	0			
目標2	各科目の学習	目標を自分で設定し、乳	実行できる。					0	\circ				
目標3	各科目の学習	目標の具体的実行案を自	自分で企画・ュ	立案できる。	·			0	\circ				
目標4	各科目の学習	目標の具体的実行案を9	実行できる。					0	\circ				
目標 5	目標 5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる									0	\circ		
目標 6													0
目標7	集団の中でリ	ーダーシップを発揮して	て、説明や指え	示等ができ	る。				0	0	0		
目標8	学習内容を今	後のキャリア形成へと-	-般化する計画	画が立案で:	きる。								\circ
目標 9	学習内容を今	後のキャリア形成へと-	-般化できる。										\circ
目標10	検定・資格取	?得に向けた学習計画を <u>3</u>	立案できる。									\circ	\circ
		授	業計画(受業の具	体的な	ょ実施	內容))					
1 (2年)	10月~11月の	ロインターンシップに	ついてレポ-	ート作成提	是出								
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目に る実務 の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。													

シ	ラバス	スNo.		授	業科目	1名	(日	本語)					授業	科目	名(英	語)		
222	2BDN	20025		,	インタ	— ?	ンシ	ップX	[]					I	ntern	ship>	(1		
	学科	 名		コース	〈名		学年	学期	単位数	ţ	週コマ		方法		利	斗目担	当教	員	
情報ビジネス	ス学科Ⅱ部、	学科Ⅱ部、事務・ 観光・ホテルビジ 务員学科Ⅱ部		なし	,		2	後	2				実習			東郷	睦		
		上業において 3当業務外へ															5知識	(業務内	容の
		具	体的	な到達	目標と	۲D	P等/	へのタ	ໄ応					1	2	3	4	5	6
目標	1	各科目の目的	りを判別	し、主体		加で	きる。							0	0	0			
目標	2	各科目の学習	習目標を	自分で説	定し、乳	実行	できる	0						0	0				
目標	3	各科目の学習	習目標の	具体的男	₹行案を1	自分	で企画	・立案	できる	0				0	0				
目標	目標4 各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。										0	0							
目標	目標 5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。										•			0	0				
目標	6	更なる能力向	正のた	め、各科	4目の学習	習目	標を再	設定し	、実行	できる	る。								0
目標	7	集団の中でリ	リーダー	シップを	発揮して	て、	説明や	指示等	ができ	る。					0	0	0		
目標	8	学習内容を今	後のキ	ャリア飛	彡成へと-	一般	化する	計画が	立案で	きる。									\circ
目標	9	学習内容を今	後のキ	ャリア刑	彡成へと−	一般	化でき	る。											\circ
目標〔	1 0	検定・資格取	収得に向	けた学習	計画をユ	立案	できる	٥										0	\circ
					授	業	計画	(授美	業の具	体	的な	実施	内容)					
1	(2年)12	2月~1月の	インタ	ーンシ	ップにつ	つい	てレヹ	ポート1	作成提	出									
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14 15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
التسا																			

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標	票、具	具体策	等)										
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等	()										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	 動務先企業からの「月間レポート _」	返担	Ţ											
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1	科目に	に対する取組み姿勢の得点 10 0 0 0													
2	科目に	に対する第三者評価の得点 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経!	験等									
関す	科目に る実務 の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。													

シラバ	ベスNo.	授業科目名(日本語)		授業	科目名	名 (英	語)		
222BDI	N20026	インターンシップXII		I	ntern	shipX			
	<u></u> 斗名	コース名 学年 学期 単位数 週コ	マ 方法		乔.	斗目担	当教員	Ę	•
	ネス学科 II 部、事務・ 豚、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし 2 後 1	実習			東郷	睦		
		て、実務研修(OJTなど)を経験しながら、提携先公人の視野拡大など)の修得により、提携先企業の中標					知識 (業務内]容の
	具	体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的]を判別し、主体的に参加できる。		0	0	0			
目標 2	各科目の学習	引標を自分で設定し、実行できる。		0	0				
目標3	各科目の学習	目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。		0	0				
目標4	-	引標の具体的実行案を実行できる。		0	0				
目標 5		『目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙で	できる。			0	0		
目標 6]上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。							0
目標7		ーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。			0	0	0		
目標8		後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。							0
目標 9	-	後のキャリア形成へと一般化できる。							0
目標10	快止・貝恰以	報告に向けた学習計画を立案できる。 							0
1 (2年) 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	2月のインター	ーンシップについてレポート作成提出							
21 22									
44 									

事前]学習	「月間レポート」の作成(月間目標、具体策等)													
充当	時間	約30分間程度													
事後	学習	「月間レポート」の作成(反省点、	改善	善策等)										
充当	時間	約30分間程度													
使用	ラキスト	なし													
参考	資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却													
参照	₹デ [*] −タ	なし													
		成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	0	0	0						0		
2	科目に	こ対する第三者評価の得点	30	0	0	0	0			0		0			
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		0		
5	課題の	D達成状況	10		0	0	0	0			0		0		
6	課題の	D提出状況	10					0	\circ						
7	出席署	図の状況(2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0					
8	他の特	学生への教育的支援	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・胃	手試験	に関す	する特	記事	項						
追	試験	(有)·無													
再	試験	(有・無)													
		科目担	当教	員の実	ミ務経	験等									
関す	当該科目に 関する実務 経験の内容														

	学科	斗名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法		Ŧ	斗目担	当教」	員				
情報ビジ	ネス学科Ⅱ音	ネス学科Ⅱ部、事務・ 豚、観光・ホテルビジ 公務員学科Ⅱ部	なし	1	通	1	1	演習	各科目担当者								
	課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して 実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行いま す。																
			具体的な到達目標と	.DP等/	へのす	寸応			1	2	3	4	5	6			
目相	票 1	各科目の目的	りを判別し、主体的に参加]できる。					0	0	0						
目相	漂 2	各科目の学習		淫行できる) ₀				0	0							
目相	票 3	各科目の学習	習目標の具体的実行案を自	分で企画	・立案	できる。			0	0							
目相	票 4	各科目の学習	目標の具体的実行案を実	淫行できる) _o				0	0							
目相	漂 5	各科目の学習	習目標の具体的実行案を扱	長り返り、	反省点	・改善点	京を列挙できる	0			0	0					
目相	票 6	更なる能力向	1上のため、各科目の学習	目標を再	設定し	、実行で	できる。							0			
目相	票 7	集団の中でリ	リーダーシップを発揮して	、説明や	指示等	ができる	,) ₀			0	0	0					
目相	票 8	学習内容を今	6後のキャリア形成へと-	-般化する	計画が	立案でき	きる。							0			
-	票 9	学習内容を今	♪後のキャリア形成へと-	-般化でき	る。									0			
目標	₹10	検定・資格取	双得に向けた学習計画を立	案できる	0 0								0	0			
週数			授	業計画	(授	業の具	体的な実施	 色内容))								
1	l——		学習方法の説明等														
2	l——		定教材を使用)、問題														
3	l——		定教材を使用)、問題														
4	l——		定教材を使用)、問題														
5	l⊢—		定教材を使用)、問題														
6	l⊢—		定教材を使用)、問題														
7	l⊢—		定教材を使用)、問題														
8	l——		定教材を使用)、問題 														
10	l——		定教術を使用/ 、 同題 宜、学習科目に該当す					(和 O IM)	110								
11	+111			る可に	火化品	受り又信	X 011 7)										
12																	
13	-																
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	

事前	了学習	学習 特になし													
充当	時間	 特になし													
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	資料の	の閲覧	等								
充当	時間	約30分間程度													
使用	テキスト	各科目担当者の指示による													
参考	資料	特になし													
参照	₹デ [*] −タ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	0	0	0						0		
2 科目に対する第三者評価の得点 30 〇 〇 〇 〇 〇 〇															
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ		
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6		D提出状況	10					0	0						
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
8	他の	学生への教育的支援 	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	(有・無 (有・無) (有・無)													
		科目担	当教	員の実	三務経	験等									
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容															
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。															

週数	授業計画(授業の具体的な実施内容)
1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験(適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う)
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前	了学習	学習 特になし													
充当	時間	 特になし													
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	資料の	の閲覧	等								
充当	時間	約30分間程度													
使用	テキスト	各科目担当者の指示による													
参考	資料	特になし													
参照	₹デ [*] −タ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	0	0	0						0		
2 科目に対する第三者評価の得点 30 〇 〇 〇 〇 〇 〇															
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ		
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6		D提出状況	10					0	0						
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
8	他の	学生への教育的支援 	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	(有・無 (有・無) (有・無)													
		科目担	当教	員の実	三務経	験等									
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容															
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。															

22	22BD	N20033	資格		Qualification exam preparation learning II									
,	学和	· 斗名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法		禾	斗目担	当教員	員	
情報ビジ	ネス学科Ⅱ音	ネス学科Ⅱ部、事務・ 部、観光・ホテルビジ 公務員学科Ⅱ部	なし	1	通	2	1	演習		名	5科目	担当	者	
授業の概要			企業実習】におけ 系選択科目です。1											
		具	体的な到達目	票とDP等	へのタ	r 京 市 に に に に に に に に に に に に に			1	2	3	4	5	6
目相	票 1	各科目の目的]を判別し、主体的に	こ参加できる。					0	0	0			
目相	票 2	各科目の学習	目標を自分で設定し	/、実行できる	ó.				0	0				
目相	目標3 各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。						0	0						
	票 4	各科目の学習	目標の具体的実行第	₹を実行できる	ó.				0	0				
-	票 5	各科目の学習	目標の具体的実行第	ミを振り返り、	反省点	・改善点	を列挙でき	きる。			0	0		
	票 6	l]上のため、各科目の											0
-	票 7	l	ーダーシップを発揮							\bigcirc	0	0		
	票 8	·	後のキャリア形成へ			立条でき	る。							0
-	票 9 〔1 0	·	`後のキャリア形成^ 											0
	110	快ル・貝俗の	(特に凹りた子首計画			# - D		<u> </u>					0	
週数	11 🗆	0 2 2 2 4 5	ᄽᄱᆉᅩᄼᇹᄤ	授業計画	(授	美の共1	本的なま	美施内容,)					
2			学習方法の説明等 定教材を使用)、		四十四	11年7月	海ウ肿梅	₽¥₩₩₩₩₩	=					
3			正教材を使用)、 定教材を使用)、											
4	-		定教材を使用)、 定教材を使用)、											
5			定教材を使用)、 定教材を使用)、											
6			<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>											
7	各科	 目の学習(指	 定教材を使用)、	問題演習、流	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併足	₹,					
8	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併足	₹.					
9	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、清	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併り	∄。					
10	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、這	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併り	₹。					
11	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、清	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併り	₹。					
12	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、這	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併り	∄。					
13	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、清	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併り	₹。					
14	各科	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、清	過去問題	題演習、	適宜映像	象教材も併り	用。					
15			定教材を使用)、											
16			定教材を使用)、											
17	27 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も ⁴													
18														
19							象教材も併り	∄。						
20	単位記	認定試験(適	冝、学習科目に該	当する資格権	検定試験	験の受検	も行う)							

事前	了学習	学習 特になし													
充当	時間	 特になし													
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	資料の	の閲覧	等								
充当	時間	約30分間程度													
使用	テキスト	各科目担当者の指示による													
参考	資料	特になし													
参照	₹デ [*] −タ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	\circ	0	0						0		
2 科目に対する第三者評価の得点 30 〇 〇 〇 〇 〇 〇															
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ		
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6		D提出状況	10					0	0						
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
8	他の	学生への教育的支援 	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	(有・無 (有・無) (有・無)													
		科目担	当教	員の実	三務経	験等									
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容															
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。															

21 22

222BDN20034 資格検定試験対策Ⅲ Qualification exam preparation learning III コース名 学科名 科目担当教員 学年 学期 単位数 方法 週コマ 経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・ なし 2 1 演習 各科目担当者 情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビ 1 通 ネス学科||部、公務員学科||部 課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅦ」を選択しない学生に対して |実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行いま 業 の 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標2 各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。 \bigcirc \bigcirc 目標3 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。 目標4 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。 目標5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。 \bigcirc \bigcirc 目標6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。 \bigcirc 目標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。 \bigcirc \bigcirc 目標9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。 \bigcirc 目標10 検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。 \bigcirc 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 週数 1 科目の学習内容、学習方法の説明等 2 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 3 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 4 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 5 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 6 7 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 8 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 9 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 10 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 11 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 12 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 13 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 14 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 15 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 16 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 17 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 18 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 19 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 20 単位認定試験(適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う)

事前	了学習	学習 特になし													
充当	時間	 特になし													
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	資料の	の閲覧	等								
充当	時間	約30分間程度													
使用	テキスト	各科目担当者の指示による													
参考	資料	特になし													
参照	₹デ [*] −タ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	\circ	0	0						0		
2 科目に対する第三者評価の得点 30 〇 〇 〇 〇 〇 〇															
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ		
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6		D提出状況	10					0	0						
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
8	他の	学生への教育的支援 	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	(有・無 (有・無) (有・無)													
		科目担	当教	員の実	三務経	験等									
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容															
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。															

222BDN20035

22

資格検定試験対策IV Qualification exam preparation learning IV コース名 学科名 科目担当教員 学年 学期 単位数 方法 週コマ 経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・ なし 2 1 演習 各科目担当者 情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビ 1 通 ネス学科||部、公務員学科||部 課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅦ」を選択しない学生に対して |実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行いま 業 の 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標2 各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。 \bigcirc \bigcirc 目標3 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。 目標4 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。 目標5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。 \bigcirc \bigcirc 目標6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。 \bigcirc 目標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。 \bigcirc \bigcirc 目標9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。 \bigcirc 目標10 検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。 \bigcirc 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 週数 1 科目の学習内容、学習方法の説明等 2 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 3 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 4 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 5 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 6 7 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 8 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 9 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 10 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 11 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 12 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 13 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 14 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 15 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 16 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 17 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 18 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 19 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 20 単位認定試験(適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う) 21

事前	了学習	学習 特になし													
充当	時間	 特になし													
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	資料の	の閲覧	等								
充当	時間	約30分間程度													
使用	テキスト	各科目担当者の指示による													
参考	資料	特になし													
参照	₹デ [*] −タ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	科目に	こ対する取組み姿勢の得点	10	0	\circ	0	0						0		
2 科目に対する第三者評価の得点 30 〇 〇 〇 〇 〇 〇															
3	課題に	こ対する目標設定状況	10			0			0		0				
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ		
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0		
6		D提出状況	10					0	0						
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	0						0					
8	他の	学生への教育的支援 	10							0					
9															
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	(有・無 (有・無) (有・無)													
		科目担	当教	員の実	三務経	験等									
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容															
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。															

222BDN20036 資格検定試験対策 V Qualification exam preparation learning V コース名 学科名 科目担当教員 学年 学期 単位数 方法 週コマ 経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・ なし 2 1 演習 各科目担当者 情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビ 1 通 ネス学科||部、公務員学科||部 課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅦ」を選択しない学生に対して |実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行いま 業 の 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標2 各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。 \bigcirc \bigcirc 目標3 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。 目標4 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。 目標5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。 \bigcirc \bigcirc 目標6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。 \bigcirc 目標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。 \bigcirc \bigcirc 目標9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。 \bigcirc 目標10 検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。 \bigcirc 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 週数 1 科目の学習内容、学習方法の説明等 2 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 3 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 4 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 5 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 6 7 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 8 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 9 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 10 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 11 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 12 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 13 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 14 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 15 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 16 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 17 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 18 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 19 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 20 単位認定試験(適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う)

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。

12

13

14

15

16

17

18

19

20 21 22 単位認定試験

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

22	2BDI	N20043	:	資格検	定試縣	検対策√	/III			Qual	ificat	ion e	xam p	repara	tion le	arning	VIII	
<u>, </u>	学科	<u></u> 斗名	コージ	ス名	学年	年 学期	単位数	週	コマ	方	法		禾	斗目担	当教	員		
情報ビジネ	ネス学科=音	ス学科Ⅱ部、事務・ 阝、観光・ホテルビジ 公務員学科Ⅱ部	なし	<i></i>	2	通	2		1	演	習		2	5科目	担当	者		
業			企業実習】に															
		具	体的な到遺	を 目標 ・	とDP等	争への対	付応				$\Box \llbracket$	1	2	3	4	5		6
目相	票 1	各科目の目的	可を判別し、主体	本的に参	加できる	0 0						0	0	0				_
目標	票 2	各科目の学習	目標を自分で記	没定し、	実行でき	る。						0	0					
目相	票 3	各科目の学習	目標の具体的 気	実行案を	自分で企	画・立案	≷できる。					0	0					
目相	票 4	各科目の学習	目標の具体的	実行案を	実行でき	る。						0	0					
目相	票 5	各科目の学習	目標の具体的	実行案を	振り返り	、反省点	京・改善点	を列挙	きでき	る。				0	0			
目相	票 6	更なる能力向	1上のため、各種	斗目の学	'習目標を	:再設定し	/、実行で	ぎきる。										C
目相	票 7	集団の中でリ	ーダーシップで	を発揮し	て、説明	や指示等	手ができる						0	0	0			
目標		学習内容を今	6後のキャリア肝	形成へと	一般化す	る計画か	が立案でき	きる。										C
目標		学習内容を今	後のキャリア肝	形成へと	一般化で	ぎる。					_						H	C
目標	1 0	検定・資格取	双得に向けた学習	習計画を	立案でき	る。										0		C
週数				授	受業計画	画(授	業の具	体的:	な実	施内	容)							
1	科目の	の学習内容、	学習方法の説	,明等														
2	各科目	目の学習(指	定教材を使用) 、問	題演習、	過去問	題演習、	適宜	映像都	教材も	併用	0						
3	各科目	目の学習(指	定教材を使用) 、問	題演習、	過去問	題演習、	適宜	映像都	教材も	併用	0						
4	各科目	目の学習(指	定教材を使用) 、問	題演習、	過去問	題演習、	適宜	映像	数材も	併用	0						
5	各科目	目の学習(指	定教材を使用)、問	題演習、	過去問	題演習、	適宜	映像	数材も	併用	0						
6	各科目	目の学習(指	定教材を使用)、問	題演習、	過去問	題演習、	適宜	映像	教材も	併用	0						
7	各科目	目の学習(指	定教材を使用) 、問	題演習、	過去問	題演習、	適宜	映像	教材も	併用	0						
8		•	定教材を使用															
9	<u> </u>		定教材を使用															
10	-	•	定教材を使用	-														
11	<u> </u>		定教材を使用															
12	-	•	定教材を使用															
13	<u> </u>		定教材を使用															
14	-	•	定教材を使用															
15			定教材を使用															
16 17	-		定教材を使用 <u></u> 定教材を使用															
18			定教材を使用 定教材を使用															
19	-	•	定教材を使用 <u></u> 定教材を使用															
20	-		定							1V.I.1 C	וע ע	0						
21	— 177 B	〜 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	<u> </u>	下欧コ	,以其作	니지사마	/···)人 ~ / 火 1.	× 0 11	<i>,</i> ,									

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

シラバスNo. 授業科目名 (英語) 222BDN20044 資格検定試験対策IX Qualification exam preparation learning IX 学科名 コース名 科目担当教員 学年 学期 単位数 週コマ 方法 経営・ショップビジネス学科 II 部、事務・ なし 2 1 演習 各科目担当者 情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビ 通 2 ネス学科||部、公務員学科||部 課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップXⅡ」を選択しない学生に対して 実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行いま 業 の 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標2 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。 目標3 各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。 \bigcirc \bigcirc 目標4 各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。 \bigcirc \bigcirc 目標5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。 \bigcirc \bigcirc 目標6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。 \bigcirc 目標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。 \bigcirc \bigcirc 目標9

学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。

検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。

目標10

週数	授業計画(授業の具体的な実施内容)
1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験(適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う)
21	
22	

 \bigcirc

 \bigcirc

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

22	2BDI	N20045	資林	各検定試験	対策X		Qualific	ation e	exam p	repara	tion lea	arning	Χ
	学科	<u></u> 斗名	コース名	ı	学期 単位数	週コマ	方法		乔.	斗目担	.当教員	 員	
情報ビジネ	ス学科Ⅱ音	・ス学科Ⅱ部、事務・ 『、観光・ホテルビジ 公務員学科Ⅱ部	なし	2	通 2	1	演習		名	5科目	担当有	者	
業		· ·	企業実習】にお(系選択科目です。			_			_		_		-
		具	体的な到達目	標とDP等	への対応			1	2	3	4	5	6
目標	₹1	各科目の目的	アを判別し、主体的	に参加できる	0			0	0	0			
目標	₹2	各科目の学習	目標を自分で設定	し、実行でき	る。			0	0				
目標	₹3	各科目の学習	目標の具体的実行	案を自分で企	画・立案できる。			0	\circ				
目標	₹4	各科目の学習	引目標の具体的実行	案を実行でき	る。			0	\bigcirc				
目標	₹5	各科目の学習	目標の具体的実行	案を振り返り	、反省点・改善	点を列挙でる	きる。			0	\circ		
目標	₹6	更なる能力向]上のため、各科目	の学習目標を	再設定し、実行 [・]	できる。							0
目標	₹7	集団の中でリ	ーダーシップを発	軍して、説明	や指示等ができ	3.			\bigcirc	0	0		
目標		学習内容を今	後のキャリア形成	へと一般化す	る計画が立案で	きる。							0
日標		学習内容を今	後のキャリア形成	へと一般化で	きる。								0
目標	1 0	検定・資格取	双得に向けた学習計	画を立案でき	る。							0	0
週数				授業計画	回(授業の具	体的な別	実施内容))					
			学習方法の説明等										
			定教材を使用)、										
<u> </u>		•	定教材を使用)、										
<u> </u>		•	定教材を使用)、										
السّ			定教材を使用)、										
السا			定教材を使用)、										
-			定教材を使用)、										
الــــــا			定教材を使用)、										
-			定教材を使用)、 定教材を使用)、										
			定教材を使用)、 定教材を使用)、										
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	定教材を使用)、 定教材を使用)、										
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	定教材を使用)、										
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	定教材を使用)、										
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	定教材を使用)、										
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u> 定教材を使用)、										
	各科目	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、	過去問題演習	、適宜映像	き教材も併り	∄。					
18	各科目	目の学習(指	 定教材を使用)、	問題演習、	過去問題演習	、適宜映像	象教材も併り	₹。					
19	各科目	目の学習(指	定教材を使用)、	問題演習、	過去問題演習	、適宜映像	8教材も併り	∄。					
20	単位記	忍定試験(適	宜、学習科目に認	核当する資格	検定試験の受	険も行う)		·					
	_		·			· ·				_		_	_

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

222BDN20046

21 22

資格検定試験対策XI Qualification exam preparation learningXI コース名 学科名 科目担当教員 学年 学期 単位数 方法 週コマ 経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・ なし 2 2 1 演習 各科目担当者 情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビ 通 課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅦ」を選択しない学生に対して |実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行いま 業 の 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標2 各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。 \bigcirc \bigcirc 目標3 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。 目標4 \bigcirc \bigcirc 各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。 目標5 各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。 \bigcirc \bigcirc 目標6 更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。 \bigcirc 目標7 集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標8 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。 \bigcirc \bigcirc 目標9 学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。 \bigcirc 目標10 検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。 \bigcirc 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 週数 1 科目の学習内容、学習方法の説明等 2 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 3 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 4 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 5 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 6 7 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 8 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 9 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 10 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 11 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 12 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 13 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 14 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 15 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 16 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 17 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 18 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 19 各科目の学習(指定教材を使用)、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。 20 単位認定試験(適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う)

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

事前	了学習	特になし												
充当	時間	 特になし												
事後	学習	学習内容の振り返り、指定された	学習月	用参考	·資料(の閲覧	等							
充当	時間	約30分間程度												
使用]テキスト	各科目担当者の指示による												
参考	資料	特になし												
参照	₹デ [*] −タ	なし												
		成績評価の方法及び記	平価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1														
2														
3 課題に対する目標設定状況 10 ○ ○ ○ ○ ○														
4	課題に	こ対する目標達成状況	10				0	0			0		\circ	
5		の達成状況	10		\circ	0	0	0			0		0	
6		D提出状況	10					0	0					
7		をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10	\bigcirc						0				
8	他の	学生への教育的支援 	10							0				
9														
10														
追試	験・再	試験の有無	追試	験・阝	 手試験	に関っ	する特	記事	項					
	試験 試験	<u>有・無</u> (有・無												
		科目担	当教	員の実	ミ務経	 験等								
関す	科目に る実務 の内容													
備考	- 夜間	閉部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。 1 E	目のコ	 マ数 <i>l</i>	 ま最大	[2□ √	? o					

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	
使用テキスト	「販売士養成講習会 3級テキスト」日本商工会議所・全国商工会連合会 編
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	\circ	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	ミニテストの得点	20		\circ	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況							\circ	0			0
5	課題の達成状況							0				
6	課題の提出状況							\circ				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								\circ		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	有・無
再試験	(有)·無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手広告代理店にて情報系事業開発に従事。IT・デジタル製品のマーケティング、研修事業を手がける。働き方 に関する事業開発などの経験をもとに起業。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	「販売士養成講習会 3級テキスト」日本商工会議所・全国商工会連合会 編
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	ミニテストの得点	20		0	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況							0	0			0
5	課題の達成状況							0				
6	課題の提出状況							0				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								\circ		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	
再試験	

	無
(有)・	無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手広告代理店にて情報系事業開発に従事。IT・デジタル製品のマーケティング、研修事業を手がける。働き方に関する事業開発などの経験をもとに起業。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当時間												
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等											
充当時間	 各授業毎に約30分間											
使用テキスト	「販売士養成講習会 3級テキスト」日本商工会議所・全国商工会連合会 編											
参考資料	なし											
参照データ	なし											
	成績評価の方法及び記	評価項	目()	成績に	- 反映	させる	る割合	ì)				
	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1 単位	認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
	科目の検定対策等答練の得点	10				0			0		-	\vdash
	<u> </u>	20		0	0	0						
	・復習に対する実施状況	20						0	0			0
	- 後音に対する矢爬仏 <i>ル</i> の達成状況							0				
	·											
	の提出状況	<u> </u>			\vdash			0				\vdash
	率の状況(2/3以上の出席に対して)	5									0	
	度の低い学生への学習支援 	5								0		Щ
9							-					
10												
追試験・再	試験の有無	追試	験・拝	討談	に関っ	する特	記事	項				
追試験	有·無											
再試験	(有)·無											
	科目担当教員の実務経験等											
当該科目に 関する実務 経験の内容 大手広告代理店にて情報系事業開発に従事。IT・デジタル製品のマーケティング、研修事業を手がける。働き方 に関する事業開発などの経験をもとに起業。												
備考												

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	
使用テキスト	「販売士養成講習会 3級テキスト」日本商工会議所・全国商工会連合会 編
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	\circ	\circ	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	ミニテストの得点	20		\circ	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況							0	0			0
5	課題の達成状況							\circ				
6	課題の提出状況							\circ				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								\circ		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	
再試験	

倒·	無
(有)・	無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手広告代理店にて情報系事業開発に従事。IT・デジタル製品のマーケティング、研修事業を手がける。働き方に関する事業開発などの経験をもとに起業。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

	時間外学習の計画(予習・復習・その他)													
事前	了学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)												
充当	時間	各授業毎に約30分程度												
事後	学習	学習した内容をテキストで復習する。												
充当	時間	約30分間程度												
使用	テキスト	「商業ラッピング3級」テキスト 社団法人商業ラッピング協会 編												
参考	資料													
参照	₹デ [*] −タ													
		成績評価の方法及び記	平価項	目(成績に	反映	させる	る割合	<u>`</u>)					
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1	単位記	立認定試験の筆記試験の得点 60 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇										0		
2	対象和	象科目の検定対策等答練の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
3	5.25	テストの得点 20 〇 〇 〇 一												

予習・復習に対する実施状況 5 課題の達成状況 6 課題の提出状況 \bigcirc 出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)

5

5

9 10

理解度の低い学生への学習支援

追試験・再試験に関する特記事項

 \bigcirc

 \bigcirc

追試験	(
再試験	

追試験・再試験の有無

 多·	無
(有)・	無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

ラッピング協会が認定した指導員。日本VMD協会理事、副理事長歴任。「ハウステンボス」ディスプレイ産業大 賞受賞。「商品装飾展示」技能検定功労者として東京都より感謝状を贈呈される。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

Y	S	シラバスNo. 授業科目名(日本語) 授業科目名(英語)																		
接宮・ショップビジネス学科 割	22	2BDN	130022		ラ	ッピン:	グⅡ					skil	l of w	rappi	ng II					
接 接客の一環として重要な位置づけがされているラッピング (包装) に関して、慶弔贈答の基本知識を学び、実際に基本的なラッピングの技術を身につけます。商業ラッピング協会主催の商業ラッピング検定 3 級の合格を目指します。の		学科	 名		 -ス名	学年	三学期	単位数	週コ	₹	方法	 i法 科目担当教員								
接名の一環として重要な位置づけがされているラッピング (包装) に関して、慶弔贈答の基本知識を学び、実際に基本的 な ラッピングの技術を身につけます。商業ラッピング協会主催の商業ラッピング検定 3 級の合格を目指します。	経営・ジ	ショップビ	*ジネス学科 部	t	ぶし	1	後	2	1		実習			田口	早苗	Ī				
またり	ler.	拉索の	理レーで手	「亜 <i>たは</i> 累	ベルがさ	hrvz				問して		明恢复	り甘木ケ	口=針 太. 6	当ァド ロ	Þ 10√1 1 − 1	未的			
概要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	,~																E 本的			
要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 目標1 経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。 ○																				
日標1 経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																				
日標2 科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。			具	体的な到	達目標	とDP等	へのす	才応				1	2	3	4	5	6			
日標3 単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	目標	票 1	経営者とし	ての使命	îを修得し	ノ、リー	ダーシ	ップを	発揮で	きる。		0	0	0			同			
日標 4 学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。	目標	票 2	科目毎・名	ト 章毎に設	定された	·基本事	項を理	解でき	る。			0	0							
目標5 学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。 ○ <t< td=""><td>目標</td><td>票 3</td><td>単元毎に設</td><td>定された</td><th>:基本事項</th><td>頁を理解</td><td>し、応</td><td>用・発</td><td>展でき</td><td>る。</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>\circ</td></t<>	目標	票 3	単元毎に設	定された	:基本事項	頁を理解	し、応	用・発	展でき	る。		0	0				\circ			
目標 6 学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。 ○	目標	票 4	学習内容を	社会生活	一般化	とするこ	とが出	来る。					0				0			
目標7 各種検定試験に向けた学習対策が身についている。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	目標	票 5	学習内容を	自分自身	⁄の生活に	一般化	するこ	とが出	来る。				0				0			
目標8 理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。 ○ 日標9 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。 ○ 日標10 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 ○ 日標10 受業計画(授業の具体的な実施内容) 1 ラッピングの意味・効果、パーソナルラッピングとビジネスラッピングの違い、必要な道具、資材について、袋のラッピを関する。 ○ 前回の復習、合わせ包み(標準タイプ)、ミニテストNo.1 2 前回の復習、合わせ包み(標準タイプ)(複習、合わせ包み(正方形タイプ) 4 合わせ包み(標準タイプ、正方形タイプ)復習、合わせ包み(薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	目標	票 6	学習内容を	基にマネ	·ジメント	能力を	修得し	、発揮	できる	0			0		0					
目標 9 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。 日標 1 0 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。	目標													0	0					
目標10 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 ○ 週数 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 1 ラッピングの意味・効果、パーソナルラッピングとビジネスラッピングの違い、必要な道具、資材について、袋のラッピ 前回の復習、合わせ包み (標準タイプ)、ミニテストNo.1 3 合わせ包み (標準タイプ) 復習、合わせ包み (正方形タイプ) 4 合わせ包み (標準タイプ、正方形タイプ) 復習、合わせ包み (薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	目標	目標8 理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。										0	\circ							
週数 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 1 ラッピングの意味・効果、パーソナルラッピングとビジネスラッピングの違い、必要な道具、資材について、袋のラッヒ 前回の復習、合わせ包み (標準タイプ)、ミニテストNo.1 3 合わせ包み (標準タイプ) 復習、合わせ包み (正方形タイプ) 合わせ包み (標準タイプ、正方形タイプ) 復習、合わせ包み (薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	目標													0						
1 ラッピングの意味・効果、パーソナルラッピングとビジネスラッピングの違い、必要な道具、資材について、袋のラッヒ 前回の復習、合わせ包み(標準タイプ)、ミニテストNo.1 合わせ包み(標準タイプ)復習、合わせ包み(正方形タイプ) 合わせ包み(標準タイプ、正方形タイプ)復習、合わせ包み(薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	目標	目標 1 0 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 O										0								
2 前回の復習、合わせ包み(標準タイプ)、ミニテストNo.1 3 合わせ包み(標準タイプ)復習、合わせ包み(正方形タイプ) 4 合わせ包み(標準タイプ、正方形タイプ)復習、合わせ包み(薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	週数				扫	受業計画	回(授)	業の具	体的な	実施	内容)								
3 合わせ包み (標準タイプ) 復習、合わせ包み (正方形タイプ) 4 合わせ包み (標準タイプ、正方形タイプ) 復習、合わせ包み (薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	1	ラッヒ	ピングの意味	・効果、バ	ペーソナル	ラッピン	<i>゚</i> グとビ	ジネス	ラッピン	グの遠	皇い、!	必要な	道具、	資材に	ついて	、袋の	ラッヒ			
4 合わせ包み(標準タイプ、正方形タイプ)復習、合わせ包み(薄箱型)、十字がけ蝶結び、ミニテストNo.2	2	前回の	復習、合わる	せ包み(標	準タイプ	") 、ξ=	テスト!	No.1												
	3	合わせ	t包み(標準:	タイプ)復	習、合わ	せ包み((正方形:	タイプ)												
┗ ◇ゎ+与スクアス/プ/ ヽ。ト) 対は与ス、/㎞Ⅲ+ッ! \ こーニュ M-2	4	合わせ	t包み(標準:	タイプ、正	方形タイ	プ) 復習	、合わ-	せ包み	(薄箱型	≝) 、 ┤	字が	け蝶結	び、ミ	ニテス	⊦No.2					
5 合わせ包み復習(プリント)、斜め包み(処理なし)、ミニテストNo.3	5	合わせ	!包み復習(<u>:</u>	プリント)	、斜め包	み(処理	はし)、	, <u>\$</u> ==	テストN	0.3										
6 斜め包み(処理あり)復習、斜め包み(処理なし)、十字がけ蝶結び	6	斜め包	0み(処理あ	り)復習、	斜め包み	(処理な	:し)、-	十字がり	ナ蝶結び	ĸ										
7 斜め包み(処理あり)復習、斜め包み(処理なし)、十字がけ蝶結び、袋のラッピング、たて一文字がけ蝶結び、ミニテ	7	斜め包	0み(処理あ	り)復習、	斜め包み	(処理な	:し)、-	十字がり	ナ蝶結び	、袋の	クラッ	ピング	、たて	一文字	がけ蝶	結び、	ミニテ			
8 斜め包み、贈る文化・しきたり基礎知識、のし紙をかける、ミニテストNo.5(のし紙について)		-						-												
9 斜め包み+十字がけ 復習、合わせ包み応用(タック入り)、裏・表のあるリボン、斜めがけ蝶結び	9											ン、斜	めがけ	蝶結び						
10 合わせ包み・斜め包み復習、ラッピング理論(包装の歴史)、ミニテストNo.6							•	•	ミニテ	ニストN	10.6									
11 ラッピング理論(先週の続き)、検定対策、ミニテストNo.7				先週の続き)、検定	対策、ミ	ニテス	⊦No.7												
12 検定対策																				
13 検定対策																				
14																				
15 検定対策 実技②	\vdash			++# a		W														
16 検定を受けた感想、方向性のある包装紙で包む、ミニテストNo.8										_										
17 合わせ包み応用(ピーコック)、V字がけ、表裏のあるリボンの結び方 18 斜め包み(処理あり)と十字がけ蝶結び 提出、合わせ包み(立方体)と十字がけW蝶結び											トウボ	/十\\/h 	生っぷ							
18 斜め包み(処理あり)と十字がけ蝶結び 提出、合わせ包み(立方体)と十字がけW蝶結び 19 商業ラッピング検定試験 2 級、単位認定試験		-					1. E(1)	ヒピか	(エク14	<u> </u>	1 子 끼、	v) VV 珠i	li⊓ O,							
19 間乗ブッピング 快足試験 2		-		<u>~_ □⁴√/例</u> 欠 ∠ 形⁄	、 干															
21		1,100 6																		
22																				

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当時間	 各授業毎に約30分程度									. — — — — — .		
事後学習	学習した内容をテキストで復習す	る。										
充当時間	約30分間程度											
使用テキスト	使用テキスト 「商業ラッピング3級」テキスト 社団法人商業ラッピング協会 編											
参考資料												
参照データ												
成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)												
	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1 単位	認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
	科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
	ーー・ テストの得点	20		0	0	0						
	・復習に対する実施状況							0				
					\vdash			0	0			
	の達成状況							0				-
	の提出状況							0				
	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8 理解/	度の低い学生への学習支援	5								0		
9												
10												
追試験・再	試験の有無	追試	 験・4	 試験	に関っ	 する特	記事	 項				
追試験	[有·無]											
再試験	1											
	科目担	当教	員の実	務経	験等							
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容 「商品装飾展示」技能検定功労者として東京都より感謝状を贈呈される。												
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。												

シラバスNo授業科目名(日本語)							授業科目名(英語)													
22	22BDI	N30023		POF	演習]				skill of POP										
	学科	斗名	コース	名	学年	学期	単位数	t	週コマ		方法		禾	斗目担	当教真	員				
経営・	ショップと	ごジネス学科Ⅱ部	なし		1	後	1		1		実習		田口 早苗							
業の概	OP(の重要	(ポップ) とは	見代、大量の広行 はPoint of Purch 皆と商品を結ぶ:	nase(ポ	イント	· 十	ブ・パ・	ーチ	ャス)	Adv	ertisi	ngの略	で、購	買の瞬	間を演	出する	販促			
要		В	 体的な到達 l	コ柵 レD	D华	ν Φ.	+ - է					1 4								
		· -						. 74 1				1	2	3	4	5	6			
-	目標1 経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。								0	0	0									
	標2 科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。 標3 単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。								0	0										
	票 3							è 展 ්	ぐさる	0 0		0	0				0			
	票 4		・社会生活へ- 					ı d e s	7			 	0				0			
	票 5 票 6		を自分自身の生 を基にマネジメ									-	0				0			
									<u> </u>			 			0	0	0			
	目標 7 各種検定試験に向けた学習対策が身についている。									0	0									
	目標8 理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。 目標9 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。											0								
	1 0		図の習慣が身に			-											0			
週数		7 1 2/1					業の具					<u> </u>								
1	POP	 について、道	 具の説明、自己			(1)	* */ /-	₹ ľŤ`⊦	11.00	<u> Дис</u>	91 J.H									
2	-		ク体、見やすい																	
3	斜角~	 ペン 明朝体																		
4	斜角~	ペン 角ゴシ	ック体 キャッ	チコピー	につし	いて														
5	チョ-	ークアート(I	POPのトレンド)																
6	黒板F	POP、クラフ	トをプラスする																	
7	売場で	を想定したPC	DP作成																	
8	売場で	を想定したPC	DP作成、																	
9	単位記	認定試験																		
10	単位記	認定試験のフ	ィードバック、	総復習																
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16	<u> </u>																			
17 18																				
19	-																			
20																				
21	\vdash																			
22																				
	L																			

事前	前学習	 各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)												
充当	当時間	各授業毎	 に約30分程度											
事後		学習した	内容をテキストで復習す	る。									-	
充当	当時間	約30分間	 程度											
使用	用テキスト 「売れる!!手描きPOP」さとうちゅうせい著、マール社 ISBN-13: 978-4837305392													
参考														
参照	参照データ なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
	Τ		 評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記			60	0	0	0	0						0
2	対象を	科目の検定	 対策等答練の得点	10				0			\bigcirc			
3		テストの得	* *	20		0	0	0						
4	予習		 する実施状況	1						\bigcirc	\circ			0
5		の達成状況		+						0				
6		の提出状況		+						0				
7	<u> </u>	-	- 	5									0	
8			生への学習支援	5								0		
9				+ -										
10				+										
10	1													
追討	は験・再	試験の有無		追試	験・耳	 耳試験	に関っ	する特	宇記事	項				
追	試験	有·無												
再	試験	有・無												
	1.35 mm 1													
	当該科目に デザイン企業㈱オフィス・エスティ代表取締役。また、「ハウステンボス」ディスプレイ産業大臣受賞。「商品											商品		
	関する実務 経験の内容 とは、「ハウステンポス」ディスプレイ産業大臣受賞。「商品 装飾展示」技能検定功労者として東京都より感謝状を贈呈される。													
備考	~ 夜	間部の授業	は45分×2=1コマで換算	算する	。 1 E	のコ	マ数り	は最大	72⊐₹	7。				
1														

			Ħ	時間外学習の 記	十画	(予習	・復習	引・そ	の他))					
事前	学習	各授業内	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)												
充当	時間	各授業毎	に約1時間												
事後	学習	各授業毎	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等												
充当	時間	各授業毎													
使用	テキスト	ATF色彩検定公式テキスト、新配色199a													
参考	資料	なし													
参照	デ゛ ータ	なし													
			成績評価	面の方法及び記	平価項	目(成績に	に反映	させ	る割合	ì)				
/		成績	評価の対象項	目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位記	忍定試験 σ)筆記試験の	得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象和	斗目の検定	Z対策等答練	の得点	10				0			\circ			
3	ミニラ	テストの得	 }点		20		0	0	0						
4	予習	・復習に対	対する実施状況	 況							\circ	0			0
5	課題の	の達成状況									0				
6	課題の	 D提出状況									\circ				
7	出席率	 率の状況(対して)	5									\circ	П
8	理解原	度の低い学	生への学習	 支援	5								0		
9															
10															
		試験の有無	1		追試	験・暮	与 試験	に関 ⁻	する特	寺記事	項				
追記		<u></u>													
再詞	<u> </u>	有・無													
				£\ □ +□	ᅶ	ニ のす	⊐ Ӡ⁄⋝ ∜▽	E 全 左							

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

デザイン企業㈱オフィス・エスティ代表取締役。また、「ハウステンボス」ディスプレイ産業大臣受賞。「商品 装飾展示」技能検定功労者として東京都より感謝状を贈呈される。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

		時間外学習の	計画	(予習	・復習	当・そ	の他)						
事前	了学習	各授業内容の事前調査(事前の指	示内容	容や参	考資料	料等に	つい	て)					
充当	時間	 各授業毎に約1時間											
事後	学習	各授業毎にテキスト、参考資料の	読み゛	反し、	意味詞	調べ、	指示	された	に課題	等への	の取り	組み	等
充当	i 時間	 各授業毎に約30分間											
使用]テキスト	ATF色彩検定公式テキスト、新配色199a											
参考	資料	なし											
参照	まず 一タ	なし											
		成績評価の方法及び	評価項	目(成績に	こ反映	させる	る割合	7)				
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1													H MILO
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					
_		忍定試験の筆記試験の得点 斗目の検定対策等答練の得点	60 10	0	0	0	0	0		0			
_	対象和			0	0	0		0		0			
2	対象を	斗目の検定対策等答練の得点	10	0			0	0	0	0			
2 3 4	対象和 ミニ: 予習	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点	10	0			0	0	0				0
2 3 4 5	対象和 ミニ: 予習 課題の	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点 ・復習に対する実施状況	10	0			0	0					0
2 3 4 5 6	対象和 ミニー 予習 課題の 課題の 出席 ^室	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点 ・復習に対する実施状況 の達成状況 の提出状況 をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10 20 5	0			0		0				0
2 3 4 5 6 7 8	対象和 ミニー 予習 課題の 課題の 出席 ^室	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点 ・復習に対する実施状況 の達成状況 の提出状況	10 20				0		0				0
2 3 4 5 6 7 8	対象和 ミニー 予習 課題の 課題の 出席 ^室	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点 ・復習に対する実施状況 の達成状況 の提出状況 をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10 20 5				0		0				0
2 3 4 5 6 7 8	対象和 ミニー 予習 課題の 課題の 出席 ^室	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点 ・復習に対する実施状況 の達成状況 の提出状況 をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10 20 5				0		0				0
2 3 4 5 6 7 8 9	対象和 ミニーラ 課題 課題 出席 理解 歴	科目の検定対策等答練の得点 テストの得点 ・復習に対する実施状況 の達成状況 の提出状況 をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10 20 5 5	験・再	0	0			0			0	0

追試験	r
再試験	[

	無
(有)·	無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

デザイン企業㈱オフィス・エスティ代表取締役。また、「ハウステンボス」ディスプレイ産業大臣受賞。「商品 装飾展示」技能検定功労者として東京都より感謝状を贈呈される。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

事前	前学習	各授業内容の事前調査(事前の指:	示内容	容や参	考資料	斗等に	つい	て)					
充当	4時間	 各授業毎に約1時間											
事後	(学習	学習した内容をテキストで復習す	る。										
充当	時間	約30分間程度											
使用	ラテキスト	『コンピュータ会計基本問題集』											
参考	資料	なし											
参照	呉データ	なし											
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)												
	成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10												
1													
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	S = 7	テストの得点	20		\circ	0	0						
4	予習	・復習に対する実施状況							0	0			0
5	課題の	D達成状況							0				
6	課題の	D提出状況							0				
7	出席率	をの状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解原	 度の低い学生への学習支援	5								0		
9													
10													
追討	験・再	試験の有無	追試	験・耳	 耳試験	に関っ	する特	記事	 項				
追	試験	(有)·無											
再	試験												
		科目担	.当教.	員の第	ミ務経	験等							
	科目に る実務												
経験	の内容												
,							. –						
備考	夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。1 E	日のコ	マ数り	は最大	2==	7 0				

事前	前学習	各授業内容の事前調査(事前の指:	示内容	容や参	考資料	斗等に	つい	て)					
充当	4時間	 各授業毎に約1時間											
事後	(学習	学習した内容をテキストで復習す	る。										
充当	時間	約30分間程度											
使用	ラテキスト	『コンピュータ会計基本問題集』											
参考	資料	なし											
参照	呉データ	なし											
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)												
	成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10												
1													
2	対象和	斗目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	S = 7	テストの得点	20		\circ	0	0						
4	予習	・復習に対する実施状況							0	0			0
5	課題の	D達成状況							0				
6	課題の	D提出状況							0				
7	出席率	をの状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解原	 度の低い学生への学習支援	5								0		
9													
10													
追討	験・再	試験の有無	追試	験・耳	 耳試験	に関っ	する特	記事	 項				
追	試験	(有)·無											
再	試験												
		科目担	.当教.	員の第	ミ務経	験等							
	科目に る実務												
経験	の内容												
,							. –						
備考	夜間	引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	。1 E	日のコ	マ数り	は最大	2==	7 0				

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指:	示内容	容や参	考資料	料等に	つい	て)							
充当時間	 各授業毎に約1時間													
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の	読み゛	反し、	意味語	周べ、	指示	された	に課題	等への	の取り	組み	等		
充当時間	 各授業毎に約30分間													
使用テキスト	「みんなが欲しかった!簿記の教科書 Eの問題集 日商3級 商業簿記 第8版」			美簿記	第8月	反」 TA	C出版、	「み,	んなが	欲しか	った!	簿記		
参考資料	なし													
参照データ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合) 成績評価の対象項目 % 日標1 日標2 日標3 日標4 日標5 日標5 日標6 日標7 日標8 日標9 日標1													
成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10 1 単位認定試験の筆記試験の得点 60 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
2 対象科目の検定対策等答練の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
3 ミニテストの得点 20 〇 〇 〇														
	4 予習・復習に対する実施状況													
5 課題(
6 課題(の提出状況							\circ						
7 出席3	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0			
8 理解原	度の低い学生への学習支援	5								0				
9														
10														
追試験・再	試験の有無	追試	験・阝	手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験	有·無													
再試験			. =====================================											
	科目担	当教	員の実	『務経	験等									
当該科目に 関する実務														
経験の内容														
備考														

題や過去	去問
題や過去	
題や過ぎ	
5	6
'	
	0
	0
0	0
	0

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指:	示内容	容や参	考資料	料等に	つい	て)							
充当時間	 各授業毎に約1時間													
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の	読み゛	反し、	意味語	周べ、	指示	された	に課題	等への	の取り	組み	等		
充当時間	 各授業毎に約30分間													
使用テキスト	「みんなが欲しかった!簿記の教科書 Eの問題集 日商3級 商業簿記 第8版」			美簿記	第8月	反」 TA	C出版、	「み,	んなが	欲しか	った!	簿記		
参考資料	なし													
参照データ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合) 成績評価の対象項目 % 日標1 日標2 日標3 日標4 日標5 日標5 日標6 日標7 日標8 日標9 日標1													
成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10 1 単位認定試験の筆記試験の得点 60 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
2 対象科目の検定対策等答練の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
3 ミニテストの得点 20 〇 〇 〇														
	4 予習・復習に対する実施状況													
5 課題(
6 課題(の提出状況							\circ						
7 出席3	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0			
8 理解原	度の低い学生への学習支援	5								0				
9														
10														
追試験・再	試験の有無	追試	験・阝	手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験	有·無													
再試験			. =====================================											
	科目担	当教	員の実	『務経	験等									
当該科目に 関する実務														
経験の内容														
備考														

	シラバスNo. 授業科目名(日本語)								科目名	名(英	語)		
22	22BDI	N30033		簿記Ⅲ				А	ccou	ntingl	II		
	学科	———— 斗名	コース名	学年	学期 単位数	週コマ	方法		禾	斗目担	当教員	Ę	
経営・	ショップヒ	ごジネス学科Ⅱ部	なし	2	後 2	2	講義			大塚	通成	-	
授業の概要	日本	商工会議所	簿記2級」の合格	を目指す授業	です。								
		 具	体的な到達目標	EとDP等へ	への対応			1	2	3	4	5	6
目相	票 1	経営者とし	ての使命を修得	し、リーダ	ーシップを発	揮でき	る。	0	0	0			
目相	票 2	科目毎・名	予章毎に設定され	た基本事項	を理解できる	0		0	0				
目相	目標3 単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。								0				0
_	票 4		社会生活へ一般						0				0
	票 5		自分自身の生活						0				0
	票 6		基にマネジメン			きる。			0		0		
	票 7		ば験に向けた学習			1-	_					0	0
_	票 8		低い学生への学習 							0	0		
-	票 9 〔1 0		5、遅刻、早退等 間の習慣が身につ								0		0
	₹ 1 U	ア白・仮白											
週数	+∞ *** =	江南(松業の	 具体的な実施内容)		(授業の具体	的なま	E 施内谷)					
2	-	i 画 (投来の: 	呉仲的な天旭的台/	尚未决心									
3	2級	西棠海記 西業簿記											
4	2級	商業簿記											
5	2級	 商業簿記											
6	2級	商業簿記											
7	2級	商業簿記											
8	2級	商業簿記											
9	2級	商業簿記											
10	前期	単位認定試験	·····································										
11													
12													
13	<u> </u>												
14 15	<u> </u>												
16													
17	\vdash												
18													
19													
20													
21													
22													

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指:	示内容	容や参	考資料	料等に	つい	て)							
充当時間	 各授業毎に約1時間													
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の	読み゛	反し、	意味語	周べ、	指示	された	に課題	等への	の取り	組み	等		
充当時間	 各授業毎に約30分間													
使用テキスト	「みんなが欲しかった!簿記の教科書 Eの問題集 日商3級 商業簿記 第8版」			美簿記	第8月	反」 TA	C出版、	「み,	んなが	欲しか	った!	簿記		
参考資料	なし													
参照データ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合) 成績評価の対象項目 % 日標1 日標2 日標3 日標4 日標5 日標5 日標6 日標7 日標8 日標9 日標1													
成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10 1 単位認定試験の筆記試験の得点 60 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
2 対象科目の検定対策等答練の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
3 ミニテストの得点 20 〇 〇 〇														
	4 予習・復習に対する実施状況													
5 課題(
6 課題(の提出状況							\circ						
7 出席3	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0			
8 理解原	度の低い学生への学習支援	5								0				
9														
10														
追試験・再	試験の有無	追試	験・阝	手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験	有·無													
再試験			. =====================================											
	科目担	当教	員の実	『務経	験等									
当該科目に 関する実務														
経験の内容														
備考														

	シラバ	こNo.	日本語)			授業	科目	名(英	語)				
22	22BDI	N30034		簿記IV	1			А	ccou	ntingl	V		
	学科	斗名	コーフ	《名 学年	学期 単位数	週コマ	方法		Ŧ	斗目担	.当教真		
経営・	ショップヒ	ごジネス学科Ⅱ部	なし	2	後 2	2	講義			大塚	通成	;	
授業の概要	「日本	商工会議所	簿記2級」の	合格を目指す授	受業です。								
		具	体的な到達	目標とDP等	への対応			1	2	3	4	5	6
目相	票 1	経営者とし	,ての使命を	修得し、リー	ダーシップを	発揮できる		0	0	0			
目相	票 2	科目毎・名	ふ章毎に設定	された基本事	項を理解できん	3.		0	0				
目相	目標3 単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。								0				0
	票 4			一般化するこ					0				0
-	票 5				することが出				0				0
	票 6				修得し、発揮・				0		0		
-	票 7	-			についている。							0	0
	票 8				囲への配慮が		0 .			0	0		
	票 9				真摯に取り組ん 						0		
	10	ア首・復音	1の首頂が身		意識を持つこ								0
週数	-	1王 /控業の	B 4-50-4- p.45	***************************************	画(授業の具作	本的な実施	他内容。)					
2		†囲(授業の 工業簿記	具体的な実施	内容)、工業簿	TāC								
3	2級												
4	-	工来為記 工業簿記											
5		工業簿記 工業簿記											
6													
7		工業簿記											
8	2級	工業簿記											
9	2級	工業簿記											
10	後期	単位認定試	験										
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指:	示内容	容や参	考資料	料等に	つい	て)							
充当時間	 各授業毎に約1時間													
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の	読み゛	反し、	意味語	周べ、	指示	された	に課題	等への	の取り	組み	等		
充当時間	 各授業毎に約30分間													
使用テキスト	「みんなが欲しかった!簿記の教科書 Eの問題集 日商3級 商業簿記 第8版」			美簿記	第8月	反」 TA	C出版、	「み,	んなが	欲しか	った!	簿記		
参考資料	なし													
参照データ	なし													
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合) 成績評価の対象項目 % 日標1 日標2 日標3 日標4 日標5 日標5 日標6 日標7 日標8 日標9 日標1													
成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10 1 単位認定試験の筆記試験の得点 60 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
2 対象科目の検定対策等答練の得点 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
3 ミニテストの得点 20 〇 〇 〇														
	4 予習・復習に対する実施状況													
5 課題(
6 課題(の提出状況							\circ						
7 出席3	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0			
8 理解原	度の低い学生への学習支援	5								0				
9														
10														
追試験・再	試験の有無	追試	験・阝	手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験	有·無													
再試験			. =====================================											
	科目担	当教	員の実	『務経	験等									
当該科目に 関する実務														
経験の内容														
備考														

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指	料等に	つい	て)										
充当時間	 各授業毎に約30分程度													
事後学習	学習した内容について、指示され	た課題	題があ	れば1	行う	(宿題) 。							
充当時間	約30分~1時間程度													
使用テキスト	特になし													
参考資料	なし													
参照データ	なし													
	成績評価の方法及び	評価項	夏目 (,	成績に	こ反映	させ	る割合	r)						
	成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10													
1 単位認定試験の筆記試験の得点 0 0 0 0 0 0 0														
2 対象科目の検定対策等答練の得点 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
2 対象符目の模定対策等音線の特点 0 3 ミニテストの得点 0														
3 ミニテストの得点 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
5 課題(の達成状況	20						0						
6 課題(の提出状況	10						0						
7 出席3	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	10									\circ			
8 理解	度の低い学生への学習支援	0								0				
9 課題	発表会の発表内容	60	0	0	0	0	0					0		
10												,		
追試験・再	試験の有無	追試	験・戸	 手試験	に関っ	する特	記事	項						
追試験	(有·無)													
再試験	有·無													
	科目担	旦当教	員の実	ミ務経	験等									
科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容														
備考を	間部の授業は45分×2=1コマで換算	<u></u> 算する	. 1 E	一 のコ	マ数り	 よ最大	2==	7 0						

) — NI	اس ا	***************************************	=>		1편 제4	- 	- /-++	-=-		
		、スNo.	[美科目名(日本 				科目4		,	_	
22	ZBDI	N30051		卒業研究 			Gradi	ıation	prod	uctioi	1	
(2) (2)	学科	斗名 ビジネス学科 II T	コース	名 学年学	期 単位数 週=	方法		禾	斗目担	当教員	Į	
部、事	務・情報	ビジネス学科 II ビジネス学科 II レビジネス学科 II	なし	2 1	後 2 2	2 演習			東郷	睦		
				究し、論文を完成								
業の				斗の特性に即した。 の収集とまとめ、「								
概		して実施しま			Word Copy	()) > ()/2		, 0, , 0	7012(1	J. 1 0 1 1 0	01116	
要												
				目標とDP等への	の対応 		1	2	3	4	5	6
目相	票 1		基礎概念を区分				0	0	0			
	票 2	科目毎に影		0	0							
	票3			事項を理解でき	- 0		0	0				
	票 4			事項を理解でき				0				0
	票 5			-般化することが				0			-	0
	票 6			活に一般化する				0		\circ		
-	票 7	-		策が身について							0	
	票 8			習支援ができる		. 7			0	0		
	票 9			と等が無く、真摯 						0		
	1 0	予留・復智	留の智慎か身に	つき、問題意識								0
週数	>1/4				授業の具体的な							
1				文の書式、構成方	「法等説明。各種 <u>活</u>	是出期限の案	<u></u>					
2	-		て「卒業論文概 									
4	<u> </u>			。未提出者へのフ 未提出者へのフォ								
5	-	- の助言・指		不促山有 ハのフォ	н							
6			<u></u> 回中間発表、個別									
7		- 0.00		7,311 214								
8	-	への助言・指	-									
9	個々々	への助言・指	 導									
10	各自に	 こよる 第2回		 立認定試験)								
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19	1											

事前	前学習	文献、資料等の事前調査(事前の	指示区	内容や	参考)	資料等	につ	いて)							
充当	時間	 各授業毎に約1時間													
事後	(学習	各授業毎に訂正事項、参考資料の記	読みぇ	反し、	指示	された	課題	等へ <i>0</i>	つ取り	組み等	等				
充当	6時間	 各授業毎に約30分間													
使用	ラテキスト	なし													
参考	資料	各種データベース、論文集、図書館	館等												
参照	呉テ゛ータ	CiNii Articles、CiNii Books、J-STAGE Library、国立国会図書館サーチ、カーリル			_						E Xplo	re®Dig	ital		
	成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目 % 目標1 目標2 目標3 目標4 目標5 目標6 目標7 目標8 目標9 目標10 立認定試験の筆記試験の得点 0 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
1	単位詞	認定試験の筆記試験の得点 0 0 0 0 0 0 0													
2	対象和	科目の検定対策等答練の得点 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
3	3 = 7	テストの得点	0		0	0	0								
4	予習	・復習に対する実施状況	0						0	0			0		
5	課題の	の達成状況	20						0						
6	課題の	D提出状況	10						\circ						
7	出席率	をの状況 (2/3以上の出席に対して)	10									0			
8	理解原	度の低い学生への学習支援	0								\circ				
9	課題の	D完成度、内容、形式等	60												
10															
追試	験・再	試験の有無	追試	験・耳	写試験	に関っ	する特	記事	項						
	試験 試験	(有)·無 (有)·無													
			当教	昌の事	■ 発経	<u></u> 験等									
		TTH 1-			C-170 (142	ני אנפי									
関す	科目担当教員の実務経験等 当該科目に 関する実務 経験の内容														
備考		【 引部の授業は45分×2=1コマで換算	する	. 1 E	一のコ	マ数り	よ最大	2=5	7。						

222BDN30061

スキルアップ講座 l

(B検ジョブパス2級対策)

Skill up studies I

学科名

コース名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科||部、事務・ 情報ビジネス学科||部、観光・ホテルビジ ネス学科||部、公務員学科||部

概要

なし

2 | 後

2

1

講義

花澤 徹

授 新社会人・職業人としての心構え、基礎能力を「ビジネス能力検定2級(B検ジョブパス2級)」問題の解答解説を通じ業 て身につけることを目的とします。カリキュラムの都合上、公務員学科II部を除いて、「B検2級」を全員受験します。

	具体的な到達目標とDP等への対応	1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	0	\circ	0			
目標 2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	0	0				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	0	0				0
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		0				0
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		0				0
目標 6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		0		0		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					0	0
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			\circ	0		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				0		
目標10	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。				0		0

週数	授業計画(授業の具体的な実施内容)
1	科目内容の説明、概要
2	ビジネスとコミュニケーションの基本・・・キャリアと仕事へのアプローチ
3	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 会社活動の基本
4	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 話し方と聞き方
5	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 接客と営業の進め方
6	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 不満を信頼に変えるクレーム対応
7	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 会議への出席とプレゼンテーション
8	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ チームワークと人のネットワーク
9	仕事の実践とビジネスツール・ 仕事の進め方
10	仕事の実践とビジネスツール・ ビジネス文書の基本
11	仕事の実践とビジネスツール・統計・データの読み方、まとめ方
12	仕事の実践とビジネスツール・ 情報収集とメディアの活用
13	仕事の実践とビジネスツール・ 会社数字の読み方
14	仕事の実践とビジネスツール・ビジネス文書の基本と法律・税金知識
15	仕事の実践とビジネスツール・ 産業と経済の基礎知識
16	仕事の実践とビジネスツール・ 産業と経済の基礎知識 2
17	社会で活躍するために必要な知識 1
18	社会で活躍するために必要な知識 2
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック、総復習
21	
22	

事前	前学習	各授業内容の事前調査(事前の指	示内容	容や参	考資料	斗等に	つい	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)										
<u></u> 充当	4時間																	
		各授業毎にテキスト、参考資料の読み	·윤 I	辛吐	調べ	歩 二	+ h +-	=甲里百生	έ ^ <i>σ</i>]	町711公日	ュ笙							
			、区し、	、	、即,、、	1日八、	C 16/C	本 (2) ¬	丁 ァベロク)	以り心	. グラー							
充当	時間	各授業毎に約30分間																
使用	月テキスト	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 問題:	集及び	公式テ	キスト	(コピ	°-)											
参考	資料	資料 なし																
参照	呉テ゛ータ	なし																
		成績評価の方法及び記	平価項	目(成績に	反映	させる	る割合	ì)									
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
1		忍定試験の筆記試験の得点	30	0	0	0	0	0					0					
2		4目の検定対策等答練の得点	30				0			0								
3 ミニテストの得点					0	0	0											
4		・復習に対する実施状況	0						0	0			0					
5		の達成状況	0						0	-								
6		の提出状況 	0						0									
7		率の状況(2/3以上の出席に対して)	40				-					0						
8	埋幣	度の低い学生への学習支援 	0				-				0							
9																		
10									.]]									
追試	験・再	試験の有無	追試	験・耳	再試験	に関っ	する特	記事	項									
ļ	試験 試験	有·無 有·無																
		—————————————————————————————————————	当教.	員の舅	₹務経.	験等												
関す	科目に る実務 の内容																	
備考	夜間	聞部の授業は45分×2=1コマで換算	する	0														

1日のコマ数は最大2コマ。スキルアップ講座は「スキルアップ講座 I (P検3級対策)」と「スキルアップ講座 II (B検2級対策)」。

シラバスNo. 授業科目名(英語) 222BDN30062 スキルアップ講座 II (P検3級対策) Skill up studies II 学科名 コース名 科目担当教員 学年 学期 単位数 週コマ 方法 観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部 岩野 桂子 なし 2 後 2 1 講義 P検(ICT プロフィシエンシーアセスメント)3級の受検を目標とした授業です。情報通信のリテラシー学習をはじめ とし、倫理規定の徹底をもとに各種課題をPBL演習型式で学習します。 の 概 要 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 6 各科目の基礎概念を区分できる。 目標1 科目毎に設定された基本事項を理解できる。 0 0 目標2 目標3 各章毎に設定された基本事項を理解できる。 \bigcirc 0 0 単元毎に設定された基本事項を理解できる。 \bigcirc 0 目標4 目標5 学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。 \bigcirc 0 目標6 学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。 \bigcirc 0 検定試験に向けた学習対策が身についている。 目標7 \bigcirc \bigcirc 理解度の低い学生への学習支援ができる。 目標8 \bigcirc 0 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。 目標 9 0 目標10 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 0 授業計画 (授業の具体的な実施内容) 週数 授業計画(授業の具体的な実施内容)説明、情報モラルと情報セキュリティ+課題 1 2 情報モラルと情報セキュリティ+課題 3 情報モラルと情報セキュリティ+課題 4 Lesson 1 <実技>ワープロ+課題 5 Lesson1<実技>ワープロ+課題 6 Lesson2<実技>表計算+課題 7 Lesson2<実技>表計算+課題 8 Lesson3<一般問題>コンピュータ知識 9 Lesson 3 <一般問題>コンピュータ知識 10 Lesson 4 <一般問題>情報通信ネットワーク+課題 11 Lesson 4 <一般問題>情報通信ネットワーク+課題 12 Lesson 4 <一般問題>情報通信ネットワーク+課題 13 Lesson 6 <一般問題>ICTを活用した問題解決+課題 14 Lesson 6 <一般問題>ICTを活用した問題解決+課題 15 各種PBL演習(課題解決型の演習)① 16 各種PBL演習 (課題解決型の演習) ② 17 各種PBL演習(課題解決型の演習)③

18

19

20

21 22 単位認定試験

各種PBL演習 (課題解決型の演習) ④

単位認定試験のフィードバック

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、課題提出等
充当時間	
使用テキスト	P検公式テキスト「P検」 3 級テキスト ISBN978-4-9906465-3-0
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	ミニテストの得点	20		0	0	0						
4	予習・復習に対する実施状況							0	0			0
5	課題の達成状況							0				
6	課題の提出状況							0				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								0		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験
再試験

旬·	無
(有)・	無

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手電機機器メーカーに長年勤務し、コンピュータの開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。コマ数は最大2コマ。 スキルアップ講座はビジネス実務と手話がセットで1科目。

	. – .	s — n.i	157世 イソロ	5 / \Box	=_				T42 상사	1) F /	5 / 1.1	·= = \			
;	ソフハ	、スNo.	授業科目:	台 (日	本語,)			授美	科目名	5 (央	:語)			
22	22BDI	N30063	スキルアック調座III (B検ジョフ	゚゙パス2	級対策	<u>:</u>)			Ski	ll up s	studie	es I			
	学科		コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	村田担当教員						
情報ビジ	ネス学科Ⅱ音	ス学科 II 部、事務・ 『、観光・ホテルビジ 公務員学科 II 部	なし	2	後	1	1	講義			花澤	徹			
業	身につ		 としての心構え、基礎能 目的とします。カリキュ 斗目です。												
	具体的な到達目標とDP等への対応								1	2	3	4	5	6	
目相	票 1	各科目の基	基礎概念を区分できる	0					0	\circ	0				
目相	票 2	科目毎に設	設定された基本事項を	理解で	きる。				0	0					
目相	票 3	各章毎に設	段定された基本事項を	理解で	きる。				0	0				0	
目相	票 4	単元毎に設	設定された基本事項を	理解で	きる。					0				0	
目相	票 5	学習内容を	と社会生活へ一般化す	ること	が出る	たる。				0				0	
目相	票 6									0		0			
目相	票 7										0	0			
目相	票 8	理解度の促	低い学生への学習支援	ができ	る。						0	0			
目相	票 9	授業の欠席	ま、遅刻、早退等が無	く、真	摯に耳	又り組ん	んでいる。					0			
目標	₹10	予習・復習	習の習慣が身につき、	問題意	識を持	寺つこん	とが出来る	0				0		0	
週数			授美	Ě計画	(授美	業の具	体的な実涯	施内容))						
1	科目内	内容の説明、	概要												
2	ビジス	ネスとコミュ	ニケーションの基本												
3	ビジス	ネスとコミュ	ニケーションの基本												
4	ビジス	ネスとコミュ	ニケーションの基本												
5	仕事の	の実践とビジ	ネスツール												
6	仕事の	の実践とビジ	ネスツール												
7	仕事の実践とビジネスツール														
8	社会で活躍するために必要な知識1・2														
9	単位認定試験														
10	単位記	認定試験のフ	ィードバック、総復習												
11															
12															
13															
14															
15															
16															

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当時間	 各授業毎に約30分											
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み	·返し、	意味	調べ、	指示さ	ミれた	課題等	への耳	又り組み	み等		
充当時間	各授業毎に約30分間											
使用テキスト	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 問題集及び公式テキスト (コピー)											
参考資料	なし											
参照データ	なし	なし										
	成績評価の方法及び記	評価項	目(成績に	反映	させる	る割合	-)				
	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1 単位	認定試験の筆記試験の得点	30		0	0	0	0					\bigcirc
	 科目の検定対策等答練の得点	30				0			0			
	17日の仮足が来 す日候の日点 	0	-	0	0	0						
\longrightarrow		_		U	\cup							
	・復習に対する実施状況 	0						0	0			0
5 課題の達成状況 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
-	の提出状況 	0						0				
	率の状況 (2/3以上の出席に対して)	40									0	
8 理解	度の低い学生への学習支援	0								0		
9												
10												
追試験・再	試験の有無	追試	験・耳	再試験	に関	する特	記事	項				
追試験][(有)· 無][
 再試験	(有)·無											
	科目担	<u>当教</u>	員の第 ———	と	験等 ——							
当該科目に												
関する実務												
経験の内容												
	1											
備考 夜	- 間部の授業は45分×2=1コマで換算	する。	<u> </u>									1
	数は最大2コマ。スキルアップ講座に			アッブ	ầ糜	(P	検3系	吸対策	E) .	と「ス	、キル・	_
	《B検2級対策)」。		,		A1 J /	. ('	,, , , , , ₁	~~· · · · · / · / · /	-/ J		,	. /
ノ冊/土川												

222BDN30064 スキルアップ講座IV (P検3級対策) Skill up studies II 学科名 科目担当教員 コース名 学年 学期 単位数 週コマ 方法 経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・ 講義 2 後 1 1 岩野 桂子 情報ビジネス学科 || 部、観光・ホテルビシ なし ネス学科||部、公務員学科||部 |P検(ICT プロフィシエンシーアセスメント)3級の受検を目標とした授業です。情報通信のリテラシー学習をはじめと し、倫理規定の徹底をもとに各種課題をPBL演習型式で学習します。この授業は再履修用科目です。 σ 概 要 6 具体的な到達目標とDP等への対応 1 2 3 4 5 目標1 各科目の基礎概念を区分できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標2 科目毎に設定された基本事項を理解できる。 \bigcirc \bigcirc 目標3 各章毎に設定された基本事項を理解できる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標4 単元毎に設定された基本事項を理解できる。 \bigcirc \bigcirc 目標5 学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。 \bigcirc \bigcirc 目標6 学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。 \bigcirc \bigcirc 目標7 検定試験に向けた学習対策が身についている。 \bigcirc \bigcirc 目標8 理解度の低い学生への学習支援ができる。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 目標9 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 目標10 \bigcirc 週数 授業計画(授業の具体的な実施内容) 1 授業計画(授業の具体的な実施内容)説明、情報モラルと情報セキュリティ+課題 情報モラルと情報セキュリティ+課題 3 Lesson 1 <実技>ワープロ+課題 4 Lesson 2 <実技>表計算+課題 5 Lesson 3 <一般問題>コンピュータ知識 Lesson 4 <一般問題>情報通信ネットワーク+課題 6 7 各種PBL演習(課題解決型の演習)③ 各種PBL演習(課題解決型の演習)④ 8 9 単位認定試験 10 単位認定試験のフィードバック 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

事前学習	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)
充当時間	各授業毎に30分程度
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、課題提出等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	P検公式テキスト「P検」3級テキスト ISBN978-4-9906465-3-0
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	0	0	\circ	0	0					0
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0			
3	ミニテストの得点	20		0	\circ	0						
4	予習・復習に対する実施状況							0	0			\circ
5	課題の達成状況							0				
6	課題の提出状況							0				
7	出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								0		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	有・無	
再試験	有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に 関する実務 経験の内容

大手電機機器メーカーに長年勤務し、コンピュータの開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。コマ数は最大2コマ。 スキルアップ講座はビジネス実務と手話がセットで1科目。

シラバスNo.			授業科目名(日本語)						授業科目名(英語)							
22	20BDI	V30011			Basic	Business Administration										
						方法		禾	斗目担	当教」	 員					
部、事	経営・ショップビジネス学科 II お、事務・情報ビジネス学科 II お								F	⋾⊞	江里 ·					
	授 企業経営に必要な「企業システム」「経営戦略」「経営組織」「経営課題」等の基礎知識を全般的に学習し、企業を終											を経営				
業の	する上	での経営者と	としての知識と、そ	ての企業で働	かく立場で	として必	要な知識	我を学習す	⁻ る。							
概要																
女			 体的な到達目標	更と DD生	へ の 対t	<u></u>		1	1	2	3	4	5	6		
	票 1			-			ょぼべき	Z		믐		4				
-	票 2		この使命を修侍 各章毎に設定され					<u>ು</u>	0	0	0					
	票3		立 立 登定された基本事		-			,	0	0				0		
-	票 4	-	と社会生活へ一般							0				0		
目相	票 5	学習内容を	と自分自身の生活	に一般化す	すること	が出来	る。			0				0		
目標	票 6	学習内容を	を基にマネジメン	ト能力を修	多得し、	発揮で	きる。			\bigcirc		0				
目標	票 7	各種検定認	武験に向けた学習	対策が身に	こついて	いる。							0	0		
目相	目標8 理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。				る。			0	0							
目相	目標9 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。								0							
目標	₹10	予習・復習	習の習慣が身につ	き、問題意	意識を持	うこと	が出来る	る。						0		
週数				授業計画	(授業	の具体	的な実	施内容))							
1	ガイク	ダンス、授業	概要の説明、成績	評価の方法、	chapte	er1 経'	営学のギー	モン、ch	apter	2 企	業のギ -	モン				
2	·		戦略のギモン①													
3	chap		戦略のギモン② 													
4	chap		rティングのギモン 													
5	chapt		ネスモデルのギモン 	<u> </u>												
6 7	chap		管理のギモン Dギモン													
8	chap		リャモン ・ファイナンスのキ	ニーニー												
9	·	とめ、単位認														
10	-		ィードバック													
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20	-															
22																
22	H															

事前学習	習 各授業内容の事前調査(事前の指	各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)											
充当時間													
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等												
充当時間	各授業毎に約30分間												
使用テキス	ト 経営学見るだけノート 宝島社刊 ISBNS	978-4-8002-7479-3											
参考資料	なし												
参照デー	なし												
成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)													
	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1 単位	立認定試験の筆記試験の得点	60	\circ	0	0	0	0					0	
2 対象	象科目の検定対策等答練の得点	10				0			0				
3 ==	ニテストの得点	20		\circ	0	0							
4 予習	習・復習に対する実施状況							\circ	0			0	
5 課題	夏の達成状況							\circ					
6 課題の提出状況								\circ					
7 出月	宇率の状況 (2/3以上の出席に対して)	5									0		
8 理角	解度の低い学生への学習支援	5								\circ			
9													
10													
追試験・ 追試験 再試験		追試	験・耳	耳試験	に関 ⁻	する特	宇記事	項					
科目担当教員の実務経験等													
当該科目に関する実務経験の内容													
備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。													

シラバスNo.		バスNo.	授業科目名(日本語)						授業科目名(英語)									
220BDN30012			経		Basic Economics													
学科名			コース名	学年	学期	単位数	(:	週コマ	方法	科目担当教員								
経営・ショップビジネス学科 II 部、事務・情報ビジネス学科 II 部、観光・ホテルビジネス学科 II			なし	1	後	1		1	講義	戸田 江里子								
授業の概要	授 毎日の生活上、必要不可欠な経済活動を様々な側面から学習し、「経済学」の全容を明らかにして行きます。 業 の 概																	
		具	具体的な到達目標と[)P等/	への対	応				1	2	3	4	5	6			
目相	票 1	経営者とし	しての使命を修得し、	リータ	ブーシ	ップを	発揮	できる	0	0	0	0						
目相	票 2	科目毎・名	各章毎に設定された基	章毎に設定された基本事項を理解できる。														
目相	票3	単元毎に討	设定された基本事項を	理解し	、応.	用・発	展で	ぎる。		0	0				0			
目標	票 4	学習内容を	を社会生活へ一般化す	社会生活へ一般化することが出来る。							0				0			
目相	票 5	学習内容を	を自分自身の生活に一	般化す	けるこ	とが出	来る	0			0				0			
	票 6		を基にマネジメント能					る。			0		0					
	票 7		式験に向けた学習対策											0	0			
	票 8		低い学生への学習支援						0			0	0					
	目標9 授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				-				0									
<u> </u>	₹10 予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。 														0			
週数					,			りな実施										
1	-		概要の説明、成績評価の	方法、	chap	ter 1	身の	回りにる	ある経済	学								
2	<u> </u>		こまつわる経済学															
3	<u> </u>		こまつわる経済学															
5	chap		成長の仕組みって何? 															
6	chap		- がいな経済の仕組みが		· l. \													
7	-		と経済の関係とは?	ла <i>7</i> 7С	. •													
8	chapter 7 政治と経済の関係とは? chapter 8 最近話題の行動経済学って何?																	
9	<u> </u>	とめ、単位認																
10	単位記	忍定試験のフ	ィードバック															
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18	<u> </u>																	
19																		
20	<u> </u>																	
21																		
22	<u> </u>																	

事前学習		各授業内容の事前調査(事前の指示内容や参考資料等について)												
充当時間														
事後学習		各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等												
充当	時間	 各授業毎に約30分間												
使用	ラキスト	経済学見るだけノート 宝島社刊 ISBN9	N978-4-8002-8285-9											
参考	資料	なし												
参照	゚゚゙゙ <u>テ</u> ゛−タ	なし												
成績評価の方法及び評価項目(成績に反映させる割合)														
		成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
1	単位記	忍定試験の筆記試験の得点	60	0	0	0	0	0					0	
2	対象和	科目の検定対策等答練の得点	10				0			0				
3		テストの得点	20		0	\circ	0							
4	予習	・復習に対する実施状況							\circ	\circ			0	
5	課題の	の達成状況							\bigcirc					
6 課題の提出状況								\bigcirc						
7 出席率の状況 (2/3以上の出席に対して)			5									0		
8	理解原	 度の低い学生への学習支援	5								0			
9														
10														
追試験・再試験の有無 追試験・再試験に関する特記事項 追試験 有・無 再試験 有・無														
科目担当教員の実務経験等														
当該科目に 関する実務 経験の内容														
備考	備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。													